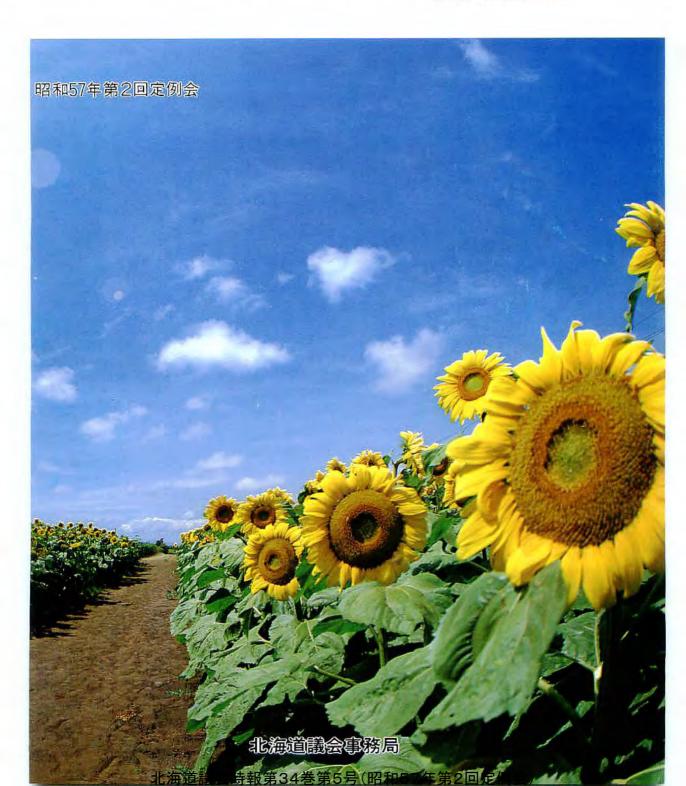
业海道議会時報

第34巻第5号



(表紙写真説明)

ヒ マ ワ リ(向日葵)

キク科の不耐寒性一年草。ニチリンソウ又はヒグルマともいう。北アメリカ原産で各地で栽培されている。夏の暑さを好み、秋にはこの雄大な姿は終りとなり、そのかわり大きな種子のかたまりができるのは、よく見る秋の一風物詩。

(写真は札幌近郊のもの)

北海道議会時報第34巻第5号(昭和57年第2回定例会)

……第5号もくじ……

第 2	回定例:	숲
	概	要1
	本 会	議2
	提 出 案	件10
	決 議	案15
		案15
	請願・陳	情20
委 員	会の動	ŧ
	議会運営委	員会24
	常任委員	会28
	特別委員	会34
	総合開昇	 高調查特別委員会
	石炭対策	货特别委員会
	北方領土	上対策特別委員会
	公害対策	传特别委員会
	懲罰特別	川委員会
	予算特別	委員会
		•
会		合
	全国都道府	県議会議長会45
		会議員共済会46
資		料
	第2回定例	会において議決を経た
		調47
	21-129 - 24 11-	

7月のメモ

議 会 日 誌

▶ 6 月

24日(木) 総合開発調査特別、懲罰特別各委員会

25日(金) 議会運営、各常任、石炭対策特別、 公害対策特別各委員会

26日(土) (第2回定例会開会)

議会運営委員会

本会議(会期決定<20日間>、提案説明、55年度決算認定、意見案1件可決)

30日(水) 懲罰特別委員会

▶ 7月

1 日(木) 議会運営委員会

本会議(代表質問1人)

2 П(金) 議会運営委員会

本会議(代表質問3人)

3 日(土) 議会運営委員会

本会議(一般質問3人)

6日(火) 議会運営、総務各委員会

本会議 (一般質問3人)

7日(水) 議会運営委員会

本会議(追加提案説明、一般質問3人)

8 日 (木) 議会運営委員会

本会議(一般質問3人、予算、企業会 計決算各特別委員会設置)

予算、企業会計決算各特別委員会 (正副委員長の互選、 予算第1・第2 各分科会設置)

予算第1・第2各分科会 (正副委員長の互選)

10日(土))

12日 (月)

予算第1・第2各分科会 (各部所

管審查)

13日(火) 14日(水)

15日(木) 議会運営、各常任、総合開発調査 特別、石炭対策特別、公害対策特 別、企業会計決算特別、予算第2 分科会(各部所管審查)、予算特別

> 委員会(総括質疑、意見調整) 本会議(各委員長報告、議案等可決、

意見案9件可決、請願・陳情審査)

(第2回定例会閉会)

16日(金) 各常任、総合開発調査、北方領土 対策特別各委員会

第2回定例会

総額 43 億 7,800 万円余に及ぶ補正予算成立

概 要

- ① 昭和57年度補正予算等を審議する第2回定例会は、6月26日招集され、会期を7月15日までの20日間と決定の後、総額43億7,800万円余の補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提案説明。次に、前会より継続審査中の昭和55年度北海道各会計歳入歳出決算について、決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、意見を付し認定議決。次に、昭和57年産生産者米価等に関する要望意見案を可決し、議案調査のため6月28日から6月30日まで3日間休会した。
- ② 休会明けの7月1日は、まず、前会から継続審査中の懲罰動議を議題とし、懲罰特別委員長から委員会における審査の経過について中間報告の後、代表質問に入り、7月2日終結。翌3日は、懲罰動議撤回請求の件を異議なく承認の後、一般質問に入り、議案調査のため5日休会(4日は休日)。6日審議を再開、7日には昭和56年度企業会計決算が上程され、知事から提案説明の後、一般質問を継続、8日一般質問を終結し、予算及び企業会計決算両特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、9日から14日までの6日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、7月8日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、10日から補正予算 等に対する各部所管審査に入り、15日に質疑を終結、同日、各分科委員長報告の後、知事に対する 総括質疑を行い、質疑終結後、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、採決の結 果、原案可決と決定。
- ④ 会期最終日の7月15日は、あらかじめ会議時間を延長し、昭和57年度一般会計補正予算等に対する 予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも委員 長報告のとおり原案可決または承認議決。次いで、ロッキード事件判決に関連する本道選出国会議 員辞職要求に関する決議案の趣旨説明があって、討論、採決の結果、これを否決。次いで、農業・ 林業・水産業各普及事業の充実強化に関する要望意見案ほか7件の意見案を可決。請願・陳情4件 について、委員会決定のとおり3件を採択、1件を不採択と決定。次いで、報告第61号ないし第67 号(昭和56年度企業会計決算)の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調 査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第61号ないし第67号を除きすべて議了。 議長から閉会のあいさつがあって、開会以来20日目の7月15日午後9時27分閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

+=	ılı	_+z	担业专从		処	理	の	状	況		= 1
提	出 	者	提出案件	原案可決	決		意見を付し 認 定 議 決	継続審査	報告のみ	撤回	計
知		事	97	30	0	36	0(1)	7	24	0	97(1)
議		貞	10	9	1	0		0	-	0(1)	10(1)
	計		107	39	1	36	0(1)	7	24	0(1)	107(2)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

〇 6 月26日(土) 午前10時10分開議、松浦義信 議長、昭和57年第 2 回定例会の開会を宜し、引 き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諮 般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から7月15日までの20日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第30号、報告第 1号ないし第36号を議題とし、知事から、提出 案件に関する説明。次に、

日程第4 前会より継続審査の報告第2号を 議題とし、山家勇決算特別委員長(社会)から、 委員会における審査の経過と結果について報告 の後、討論に入り、本間喜代人議員(共産)から、反対討論があって討論終結。次いで、採決 に入り、起立による採決の結果、起立多数(共 産反対)をもって委員長報告のとおり意見を付 し認定議決。

日程第5 意見案第1号を議題とし、提出者 の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原 案のとおり可決。

次いで、議案調査のため6月28日から6月30日まで3日間休会、7月1日再開することに決定して、午前10時34分散会。

〇7月1日(木) 午前11時 5 分開議、諸般の報告の後、

日程第1 小野秀夫君に対する懲罰の件を議 ・ 題とし、西尾六七懲罰特別委員長(自民)から、 委員会における審査の経過について中間報告。 次に、

日程第2 議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第36号を議題とし、代表質問に入り、 萩上 元春議員(社会)から、

① 知事の政治姿勢に関し、ロッキード事件に おける本道選出国会議員の有罪判決について の受けとめと責任問題についての所見、待命 大使について、知事の主張する本道の自立論 と助言を受けることとの整合性、助言の内容、 各種団体等との意見交換の経緯と理由、国際 問題の実情把握の派遣主旨と実績への疑問、 領土問題についての最終講演内容に対する見 解、大使派遣継続についての所見

- ② 総合開発計画に関し、道発展計画の点検の 意味及び計画に係る道政の政策的評価、点検 の基本的視点と今後の対応方策、新しい時代 に対応する開発計画についての考え、新しい 地域政策のあり方、新たな食糧備蓄基地構想 構築に向けて国への政策提言の必要性と道の 取り組み
- (3) 核廃棄物施設に関し、幌延町や奥尻町での 核廃棄物再処理施設誘致運動に対する見解、 神恵内村での原発誘致の動きに対する考え、 泊原発建設予定地での埋蔵文化財の保護に係 る今後の調査及び対策
- ④ 交通政策に関し、開発計画の中での位置づけ、国と地方の行財政分野の機能分担の見解、現在までの国に対する意見・提言及び要望等の働きかけ、北海道運輸交通審議会の審議状況及び今後の審議会に対する対応、国鉄の民営・分割案に対する見解、交通安全対策について、昨年の本道における交通事故統計によらない実質死傷者数、交通計画の有機的結合の早期確立の必要性、交通規制と公衆電話が案内標識との整合性、交通規制と公衆電話が案内標識との整合性、交通規制と公衆電話が案内標識との整合性、交通規制と公衆電話が案内標識との整合性、交通規制と公衆電話がなり、指導の実施の有無、現機構での交通安全点検の機能、本道における特殊性を考慮した道路建設のあり方
- (5) 障害者対策に関し、障害者に関する北海道 行動計画の年次別実施計画作成の必要性、行 動計画と第2期福祉長期計画との関連及び第 3期福祉長期計画の推進、国の障害者対策長 期計画との整合性
- (6) 教育問題に関し、現行学制の見直しの動き に対する所見、歴史学習についての教育委員 長の見解、教科書採択についての中教密答申 素案に対する見解、高等学校の間口復元につ いての見解、推せん入学における選抜基準排 除の考え、校内暴力に関連して、その内容・ 原因・特徴等の把握状況、第1回中学校生徒 指導推進会議の目的と成果、文部省の指導資 料に対する評価
- ① 右翼対策に関し、本道における右翼組織の

実態と推移、犯罪の特徴、活動の主な資金源 及び治安当局の防止対策について

質問があり、知事、教育委員会委員長、教育長及び警察本部長から答弁があつて、議事進行の都合により午後1時9分休憩、午後2時40分再開。 萩上元春 議員(社会)から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午後3時休憩、午後4時50分再開し直ちに延会。

〇7月2日(金) 午前10時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第36号を議題とし、代表質問を継続、知事、教育委員長及び教育長から7月1日の本会議における萩上元春議員(社会)の再質問に対する答弁の後、萩上議員から発言。次いで、

和田 勝之議員(自民)から、

- ① 本道経済の動向と発展方策に関し、工業の 現状と今後の見通し、公共事業の補正措置の 必要性、先端技術工業の誘致についての考え
- ② 臨調部会報告の受けとめ方と対応策に関し、道におけるいわゆる過剰行政の実態とその評価、給与・退職手当及びいわゆる上乗せ福祉の見直しに対する見解、地方財政制度についての臨調部会報告の受けとめ方と対処、北海道開発庁の統合問題に対する所見
- ③ 農業問題に関し、臨調部会報告の米の食管制度等に対する指摘についての受け止め方、 水田利用再編第3期対策・転作奨励金・生産 者米価問題に対する所見及び対策
- ④ 水産問題に関し、各種漁業権免許の切りか えに対する基本的考え、沿岸漁業の振興との 関係についての見解
- ⑤ 中小企業問題に関し、中小小売商業の近代 化促進についての所見
- ⑥ 脳性麻痺対策に関し、障害児出生の未然防止、訓練・治療に必要な専門職員の養成確保の対処策、札幌肢体不自由児総合療育センターの外来診療部門の強化及び今後の対策のあり方についての見解
- ⑦ 観光振興策に関し、本道への観光客の入り 込みの状況、観光客の誘致対策に対する考え
- ⑧ 都市問題に関し、全道各都市における市街 化区域等の見直し及びその実施時期、都市型

犯罪に対するこれまでの取り組みと今後の対策、商法の一部改正に伴う総会屋等の取り締りと企業に対する指導の必要性

⑨ 教育問題に関し、高等学校における教育水準の維持向上の必要性、中学校における進路指導改善の緊要性、高等学校における職業教育の充実の必要性、生涯教育推進のため関係機関による総合的な連携協力の具体化の考え、生涯教育に関する研究会の取組み状況、学習情報を道民に提供する考えについて

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。 議事進行の都合により、午後零時42分休憩、午後2時 9分再開。次いで、

浅野 俊一議員(公明)から、

- ① 本道の総合交通対策に関し、鉄道の整備等についての取り組みの考え、準新幹線構想についての見解、高速道路整備の現状と今後の取り組み、本道の地方空港のジェット化計画等も含めた整備状況、物資輸送等フェリー利用拡大に伴う港湾の整備の考え
- ② 成人病予防対策に関し、がん対策の予防思想普及等受診率の向上策、がん検診体制の強化に対する考え及び対処、地域がん検診センターの必要性とその設置に対する考え及び対処
- ③ 障害者対策に関し、養護学校卒業生の就職の実態と精神薄弱者更生施設の整備状況、精神薄弱者通勤寮及び精神薄弱者職場適応奉仕員モデル事業の施設整備充実についての考え、ミニ通勤寮的施設の設置促進の方法
- ④ 教育問題に関し、3歳児対象の家庭教育相 談事業及び明日の親のための学級の実施状況 と効果、勤労体験学習の実施状況
- ⑤ 青少年の非行防止対策に関し、有害環境の 浄化対策の考えについて

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。 浅野俊一議員(公明)から再質問、知事及び教育長から答弁。

高田 忠雄議員(道政)から、

① 景気の動向とその対策に関し、現状と今後の見通し、企業倒産の防止対策及び今後の対処、公共事業の工事発注等の状況及び対策、道の持ち家建設資金の利用状況と住宅建設促進対策の考え、季節労働者の通年雇用対策と

積寒給付金制度の改善についての所見

- ② エネルギー問題に関し、北炭夕張新鉱の現在の生産体制、災害の原因と北部開発の考え、今後の生産と更生計画の見通し、北炭幌内炭鉱の生産・資金繰り等経営状態及び北部区域の鉱区開発についての考え、地熱資源の利用促進に対する所見
- ③ 通年農業の促進に関し、地熱資源利用に対 する見解、余熱利用等による施設園芸振興の 取り組み方
- ④ 観光の振興に関し、観光産業の位置づけ、 観光振興の行政対応の考え及び観光客の誘致 対策、航空運賃の割引制度の現況と関係機関 へのこれまでの働きかけ及び今後の取り組み 方、公園整備の現状と今後の取り進め方、観 光圏別整備基本計画の推進に対する考え
- ⑤ 教育問題に関し、教職員の研修実施に際しての教育公務員特例法の解釈、職員団体などとの協定・申し合わせと法律要件との関係、小樽市教委と北教組小樽支部との申し合せ事項に対する見解、小樽市の小学校教育課程の状況について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって午後4時26分延会。

○7月3日(土) 午前10時33分開議、諸般の報告の後、

日程第1 小野秀夫君に対する懲罰の動議撤回の件を議題とし、異議なく承認することに決定。(この結果、懲罰特別委員会は自動的に消滅した)次いで、

日程第2 議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第36号を議題とし、一般質問に入り、 久田 恭弘議員(自民)から、

- ① 水産問題に関し、韓国漁船の本道周辺海域における操業とわが国 200 海里暫定措置法適用に対する見解、今後の対処策、第7次漁港整備計画の概要及び漁港整備の基本的考え方、沿岸漁場整備開発事業の推進に対する考え、漁業者年金の加入促進指導の考え
- ② 道路交通網整備に関し、道路機能の分担化 についての考え、道路のネットワークの強化 と人口の地方定住を促す道路づくりに対する 所見、札幌新道に関する今後の取り組み方、親

しみと潤いのある道路の建設に対する考え、 冬季における道路交通の確保についての見解 と対応策、第9次道路整備5ヵ年計画に対す る道の取り組み方

③ 北国の生活文化振興財団構想に関し、歴史 的建造物等の保護保存に対する考えについて 質問があり、知事から答弁。次いで、

長岡 寅雄議員(社会)から、

- (1) 水産問題に関し、漁船漁業再編整備の推進 体制及び漁業経営の改善の方法、共補償によ る減船についての考え、北朝鮮との民間漁業 協定の内容と本道漁業の操業状況
- ② 消防行政に関し、本道の消防力の実態の認識及び今後の対処についての基本的姿勢、消防力の整備状況、消防職員及び団員の配置割合に対する認識、消防職員の勤務条件の特殊性に対する基本的認識、給与・手当等の支給状況、職場環境の整備状況及び改善策、消防団員の報酬・手当等・退職報償金の支給実態、年金制度の有無、待遇改善に対する基本的姿勢、広域消防事務組合内部における勤務条件等の差異についての指導状況及び今後の対策について

質問があり、知事から答弁。長岡寅雄議員(社会)か ら再質問、知事から答弁の後、長岡議員から発言。次 いで

吉川 貴盛議員(自民)から、

- ① 地場工業の振興に関し、地場中小工業の設備近代化の方策、地場工業製品のデザイン開発力向上のための対策
- ② 教育問題に関し、ピーマン族・ローラー族・ 竹の子族についての生徒指導及び対応策、教 員採用に当っての人材確保の改善及び対処 策、64年国体の競技力向上推進本部の設置及 び進捗状況、指導者の養成確保計画について の考え、ジュニア層の競技力向上に対する考 えについて

質問があり、知事及び教育長から答弁、議案調査のため7月5日は休会することについてはかり異議なく決定し、午後零時38分延会。

○7月6日(火) 午前10時22分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号、報告第

- 1号ないし第36号を議題とし、一般質問を継続、 吉野 之雄議員(社会)から、
- ① 農業問題に関し、本道農業に対する評価と 反省に対する見解、本道農業の将来方向のあ り方、農用地の確保及び生産性の向上につい ての見解、農畜産物のコスト引き下げの方法、 農業後継者対策に対する考え、人材確保の方 策、農村花嫁対策におけるこれまでの状況及 び効果、市町村及び農業団体等に対する指導 と農村社会の変革に向けての方策、国際交流 の場の検討の必要性、道産小麦の客観的調査 ・評価の必要性及びその機関の設置の考え、 小麦の試験研究拡充強化及び良質小麦の育種 推進の考え、適正な栽培管理の指導徹底の必 要性
- ② 漁業振興対策に関し、日本海におけるソ連 漁船操業時のトラブル防止策、ソ連船団の影響に伴う救済措置、米国のスケトウダラ漁獲 割り当て量と洋上買い付け事業の日本海沿岸 漁船漁業者に与える影響及び対処方、韓国漁 船の協定改定と漁業権の免許切りかえ、資源 管理と配分及び沿岸漁業の振興の位置づけ
- (3) 原子力安全協定に関し、泊原発に係る安全協定の必要性の認識、安全協定の法的性質に対する見解、協定内容に対する見解、泊以外の原発に起因する風評被害の対処策、放射線被害についてふれていない理由、本協定の法的拘束力、異常時の原子炉停止措置の条件、立入調査の事前通告の必要性及び自治体から委嘱された職員の立入調査の扱い、原発建設に伴う農漁業者及び関連業者の離村・移転等についての対処方
- ④ 過疎対策に関し、過疎対策事業の実施状況 と過疎地域における産業の振興と雇用対策、 神恵内村の原発誘致等の現状に対する考えに ついて

質問があり、知事から答弁。吉野之雄議員(社会)から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、午前11時42分休憩、午後2時8分再開。知事から休憩前の吉野議員の再質問に対する答弁の後、吉野議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、吉野議員から質疑及び要望があり、知事から答弁。次いで、

樫林 巌議員(社会)から、

- ① 雇用問題に関し、公共事業実施にあたって 事業主に対する雇用促進の指導・要請の状況 及び対策、秋冬期の雇用対策
- ② 交通対策に関し、臨調第2部会報告の国鉄の分割民営論に対する今後の対処、北海道新幹線の建設促進に対する見解、国鉄の利用促進の考え、本道と大洗港間のカーフェリー航路に係る本道側受け入れを室蘭港とする基本方針変更の有無、航路開設に向けて関係方面への働きかけ及び今後の対応
- ③ 税徴収の処理に関し、自動車税に係る納税 通知書の返戻原因とその対策、納期内納税率 の低さ及び納期外納付者との間における税負 担の不均衡に対処する基本的考え方
- ④ 教育問題に関し、学校におけるクラブ活動と部活動の位置づけ及び運営内容、部活動の運営について、活動時間の限度と行事への参加範囲等制限に対する考え、文部省からの通知に関連して、教員採用の運用に対する所信について

質問があり、知事及び教育長から答弁。樫林**巌**議員 (社会)から再質問、知事及び教育長から答弁の後、 樫林議員から再再質問、教育長から答弁があって、議 事進行の都合により午後3時55分休憩、午後4時24分 再開。あらかじめ会議時間を延長のうえ、引き続き、

神本 三也議員(社会)から、

- ① 農業問題に関し、水田減反・農畜産物価格の低迷・農家における負債の増加・生産資材の価格上昇等経営収支の悪化に対する実態の認識及び対処方、農業対策室における本道農業の対策とその基本方針、57年産米価決定にあたっての取り組み方、農家の経営安定等関連対策についての考え、道産米の流通促進及び消費拡大における問題点と対策、道産小麦の位置づけ及び転作対策の特定作物として指定されている理由、転作地帯における麦の流通対策、麦の検査規格の改正の動きに対する対策、麦の検査規格の改正の動きに対する対策、麦の検査規格の改正の動きに対する対策の考え及び適地帯外地域に対する対策
- ② 林業問題に関し、カラマツ資源の保続の面から、カラマツの造林面積の減少傾向に対する認識、カラマツ人工林資源の永続性確保に対する見通しと対策、林業試験場の研究成果の活用に対する見解、木材産業再編整備を促

進する際の指導方針、天然広葉樹の減少傾向 に対する育成対策

- (3) 衛生大学の設置に関し、58年開学の札幌医科大学衛生短期大学部の設置計画とその経緯等、国立看護大学構想との関連、看護学科と他の看護婦養成機関との関係、衛生大学部の将来構想と教員等の増員に対する考え
- ① 広域水道問題に関し、広域水道事業及び水道の広域化についての基本的認識、水道制度の財政措置改善に関する基本的認識、石狩東部広域水道企業団の基本水量制の見直し及び修正についての考え、十勝中部広域水道企業団の基本水量制採用の可否及び道が企業団の構成員とならない理由、企業団の給水開始に伴う帯広市の推定水道料金、水道広域化推進における道の企業団への参画の考え方について

質問があり、知事から答弁があって午後5時25分延会。

〇7月7日(水) 午前10時23分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告 第1号ないし第36号を議題とし、一般質問を継続、昨日に引き続き神本三也議員(社会)から 再質問、再再質問があり、知事から答弁。議事 進行の都合により、日程第1の議事を中止し、

追加日程 報告第61号ないし第67号を議題と し、知事から提出案件に関する説明。次に、

日程第1にあわせ

追加日程を一括議題とし、一般質問を継続、 勝木 省三議員(道政)から、

- ① 高齢化社会の対応策に関し、高齢化社会へ の道の基本的考え方と市町村への行政指導の 必要性、三世代同居を促進する施策の必要性
- ② 海洋公園に関し、釣り人のモラル向上策と 遊漁体制づくりについての考え、海釣り公園 構想に対する所見
- 3) 食品問題に関し、農地の地力維持に対するこれまでの取り組みと今後の対処策、産業廃棄物などを利用した肥料の安全性確保についての考え、食品の安全性を確保する農法についての見解、食品検査機能を高めるための援助措置の強化、無添加食品の販売促進に対す

る取り組み

④ 教育問題に関し、新設高等学校の特色ある 施設づくりへの取り組み、新設校の地元との 連携についての取り組み、無添加食品を学校 給食へ取り入れることについての見解につい て

質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都 合により午前11時40分休憩、午後1時22分再開し、

岩崎 守男議員(社会)から、

- ① 石炭問題に関し、炭価設定に当たっての算定方法についての見解、北空知四山周辺の一般炭採掘と炭価についての見解、石炭鉱業についての現状認識、炭価決定についての石炭鉱業審議会へ臨む知事の決意、石炭ガス化発電プラントの誘致と苫東工業基地への立地及びコールセンターとの併設についての考え、北電の施設計画に関連して一般炭の需要確保についての見解、石炭火発廃止に係る見解
- ② 電力需要問題に関し、北電の電力需要想定 に対する見解
- ③ 風蓮湖岸道路に関し、道路建設に対する地 元要請の受けとめ、道路建設の必要性、道路 建設と自然環境保全についての考え、根室市 公表に係る報告書についての所見
- ④ 民衆史に関し、本道開発に当たり重労働に 従事した人々に対する認議、死亡者の実態調 査や供養・遺骨の返還等についての考え、強 制労働等に関する文書の公開についての考 え、警察署長名入り墓石についての所見について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。岩崎守男議員(社会)から再質問があり、知事から答弁の後、議事進行の都合により午後2時23分休憩。午後3時10分再開し、

柳谷 正一議員(公明)から、

- ① テクノポリス建設に関し、テクノポリス構想の動向、核となる産業についての所見、建設実現に向けての道の取り組み
- ② 水産問題に関し、サケ定置網の増統についての所見、漁民の定置網漁業への経営参加についての考え、秋サケの地域格差の是正についての所見、水産物の消費拡大についての取り組み
- ③ 環境衛生に関し、建築物の監視体制と立入

検査の結果及びその措置、ビル管理業者の資 質の向上策についての取り組み

④ 交通事故問題に関し、事故の現状と国道5号線事故分析結果の対策への反映、ミニバイクの普及度と事故実態及び事故防止対策、レジャー型事故の実態と防止対策、シートベルト着用の法制化についての国への働きかけ、市町村における交通安全活動に対する援助策について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。柳谷正一議員(公明)から再質問があり、知事から答弁。午後4時13分延会。

〇7月8日(木) 午前10時41分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第36号及び第61号ないし第67号を議題とし、一般質問を継続、

熊谷 克治議員(社会)から、

- ① 知事の政治姿勢・公約に関し、堂垣内道政 11年間における庁内不祥事に対する見解と公 正な道政の執行についての所信、国政選挙へ の立起と所属政党についての新聞報道に対す る考え、公約の達成度に対する所見
- ② 発展計画・開発問題に関し、計画の策定と 進行管理に係る責任の明確化、研究学園都市 構想等その計画や政策の見通しと政治責任
- ③ 行財政改革問題に関し、地方行財政の改革 についての臨調報告に対する見解と対処、国 税の歳入欠陥に関連し道税の見通しと道財政 への影響
- ④ 国体施設整備に関し、第44回国体の資金計 画
- ⑤ 情報公開に関し、情報公開調査研究委員会 の今後の作業内容とスケジュール、知事在任 中における制度創設化の決意
- ⑥ 教育行政に関し、教科書検定問題に関連して、教育委員会制度についての教育委員長の見解、学校教育におけるアイヌ問題の取り扱い、アイヌ教育研究協議会の今後の作業内容等、教育業務連絡指導手当の返還の実態・北教組持ち込みを拒否した事由・支給の要件と道教委の取り扱いに対する人事委員長の見解・返還金受領拒否の事由と施設整備等への

財源充当についての見解・制度の再検討についての所見について

質問があり、知事、人事委員長、教育委員長及び教育 長から答弁、熊谷克治議員(社会)から再質問、答弁 調整のため午後零時6分休憩。午後2時18分再開し、 知事、人事委員長及び教育長から答弁。熊谷議員から 再再質問があり、知事及び人事委員長から答弁。次い で、

伊藤 豪議員(道政)から、

- ① 高齢者事業に関し、高齢者就労事業の周知 策についての所見、高齢者就労センターの運 営指導援助の必要性、シルバー人材センター 設置促進の必要性
- ② 消防・防災対策に関し、ホテルなどの今後 における防災指導対策、北海道消防学校の訓 練施設の充実整備策
- ③ 教育行政に関し、小樽市における教職員研修の実態に対する認識、小樽市小学校の年間 指導計画の実態に対する受けとめ、三領域編成についてのあり方と今後の指導方策、小樽市内小中学校教職員の勤務態様調査の必要性 と対処策、職員会議の機能と校長権限についての見解、校長の職責を支える道教委の決意 について

質問があり、知事、教育委員長及び教育長から答弁。 伊藤豪議員(道政)から再質問があり、教育長から答 弁。次いで、

本間 喜代人議員(共産)から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、道庁マシンという 呼称についての承知の有無と所見、服務規律 の確保を図るための職員への通達の必要性、 知事選に絡む民間企業との関係についての見 解、臨調の部会報告に対する見解、道博会場 が月寒東小学校へ与える騒音対策
- ② 開発計画に関し、計画の点検に関連し新計 画策定についての見解、計画策定時に予想さ れなかった経済情勢の変化の具体、生活関連 投資に対する見解、苫東開発の現状に対する 所見、釧路湿原の国立公園化への見解
- ③ 原発問題に関し、低レベル放射性廃棄物貯 蔵施設の用途と内容、立地点選定に当たって の道としての対処、幌延町以外の候補地の実 態、泊原発安全協定の策定作業方策
- ④ 道民生活・産業問題に関し、積寒給付金制

度存続についての国への働きかけ、第7次漁港整備計画達成に向けての取り組み、漁港の拡張に伴う地元対応についての所見、石狩川水系の内水排除施設整備への取り組み、広域営農団地農道整備事業の現状と着工の見通し、身体障害者雇用未達成企業への対処方策の教育問題に関し、高校寄宿舎の改築についての考え、障害児学校の水泳プール整備についての考え、特殊学校寄宿舎入舎児の帰省交

質問があり、知事及び教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長し本間喜代人議員(共産)から再質問があり、知事及び開発調整部長から答弁。本間議員から再再質問があり、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

通費に対する取り組みについて

岩崎守男議員(社会)から、予算及び企業会 計決算に関する案件について、31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員を もって構成する企業会計決算特別委員会を設置 し、議案第1号及び第2号は予算特別委員会 に、報告第61号ないし第67号は企業会計決算特別委員会 に、報告第61号ないし第67号は企業会計決算特別委員会 に、それぞれ付託されたいとの動議を 提出、賛成があって動議成立、動議に係る案件 は、予算特別委員会及び企業会計決算特別委員 会に付託の上、次の委員(配付名簿のとおり) を議長指名により選任。次いで、残余の案件に ついて議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管 の常任委員会に付託した。

〇予算特別委員(31人)

小田原要四蔵(社会) 輪島 幸雄(社会) 神本 三也(社会) 岡本栄太郎(社会) 伊藤 弘(自民) 字川 源書(自民) 高木 繁光(自民) 木本 由孝(自民) 桜井 外治(自民) 寺崎 政朝(自民) 勝木 省三(道政) 中崎 昭一(自民) 久田 恭弘(自民) 豪(道政) 伊藤 高田 忠雄(道政) 松本 勇(自民) 水岡 薫(自民) 野村 權作(自民) 山口 眞人(自民) 大平 秀雄(自民) 吉川 貴盛(自民) 工藤万砂美(自民) 関根 建二(社会) 武部 勤(自民) 鈴木 誠二(社会) 長岡 寅雄(社会) 星野 健三(社会) 吉野 之雄(社会) 伊藤 武一(公明) 田苅子政太郎(自民) 川崎 守(共産)

O企業会計決算特別委員(19人)

浅野 俊一(公明) 佐々木利昭(自民) 章(自民) 寺崎 政朝(自民) 青山 弘(自民) 伊藤 伊藤 豪(道政) 桜井 外治(自民) 湯田 倉治(道政) 高橋 康之(自民) 古川 靖晃(自民) 中川 義雄(自民) 工藤万砂美(自民) 勇(自民) 笹浪 幸男(自民) 松本 吉野 之雄(社会) 保格 博夫(社会) 輪島 幸雄(社会) 星野 健三(社会) 岩崎 守男(社会)

次に、各委員会付託議案審査のため、7月9日から7月14日まで休会することに決定して、 午後5時24分散会。

○7月15日(木) 午後4時30分開議、議事進行 の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、 午後4時31分休憩、午後8時35分再開。諸般の 報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告 第1号ないし第36号を議題とし、鈴木誠二予算 特別委員長(社会)から、議案第1号及び第2 号について、石山直行厚生委員長(自民)から、 議案第3号、第14号、第15号及び第29号につい て、青山正男総務委員長(自民)から、議案第 4号ないし第7号、第10号、第11号、第22号な いし第28号、報告第1号及び第36号について、 藤井虎雄商工労働委員長(社会)から、議案第 8号について、伊藤豪農地開発委員長(道政) から、議案第9号について、中川隆之建設副委 員長(道政)から、議案第12号、第13号、第16 号ないし第21号及び報告第2号について、中田 繁夫文教林務委員長(社会)から、議案第30号 及び報告第3号ないし第35号について、それぞ れ委員会における審査の経過と結果について報 告の後、討論に入り、川崎守議員(共産)から、 議案第1号ないし第3号、第9号、第12号及び 第28号に対する反対討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、まず議案第28号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって原案可決。次に、議案第1号ないし第3号、第9号及び第12号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)

をもって原案可決。次に議案第4号ないし第8号、第10号、第11号、第13号ないし第27号、第29号、第30号及び報告第1号ないし第36号を問題とし、いずれも異議なく原案可決又は承認議決。次に、

日程第2 決議案第1号を議題とし、湯本芳志議員(社会)から趣旨説明の後、委員会付託を省略し直ちに討論に入り、佐々木行雄議員(自民)から反対討論、工藤啓二議員(公明)から賛成討論、小田部善治議員(道政)から反対討論、本間喜代人議員(共産)から賛成討論があって討論終結。起立採決の結果、起立少数(自民、道政反対)をもってこれを否決。次に、

日程第3 意見案第2号ないし第9号を議題 とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のう え、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第4 請願、陳情審査の件を議題とし、 委員長報告を省略のうえ、いずれも委員長報告 (採択3件、不採択1件)のとおり決定。次い で、閉会中報告第61号ないし第67号継続審査の 件について、異議なく企業会計決算特別委員長 から申し出のとおり閉会中継続審査に付するこ とに決定。次に、閉会中請願・陳情継続審査及 び事務継続調査の件について、各常任委員長並 びに公害対策特別委員長から申し出のとおり閉 会中継続審査または調査に付することに決定し て、今期定例会に付議された案件は、報告第61 号ないし第67号を除きすべての議了。松浦義信 議長から閉会のあいさつがあって午後9時27分 閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審 査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、7月8日に設置され、昭和57年度一般会計補正予算及び事業会計補正予算2件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を

付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長長岡寅雄君、副委員長久田恭弘君、第2分科会は、委員長松本勇君、副委員長輪島幸雄君を選出するとともに、審査の方法について協議を行い、10日から各部所管質疑に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託された案件は、当面必要とする経費について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計、特別会計を合わせ43億7千8百40万円余に及ぶ補正予算でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会に おいて質疑保留となった事項について総括質疑を 行い、付託案件に対する一切の質疑を終了した次 第でありますが、その総括質疑の主なものを申し 上げますと、

東日本学園の諸問題について 政治倫理の確立について などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、付託 案件 について 意見の 調整を 図ってまいりました が、いずれも意見の一致を見るに至らず、本日の 委員会において、採決の結果、議案第1号及び第 2号は、賛成者多数をもって原案可決と決定した 次第であります。

以上、本委員会に付託された案件の審査経過と 結果を申し上げたのでありますが、委員各位にお かれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽 くされた次第でありまして、その労苦に対し、衷 心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 26	1	昭和57年度北海道一般会計補正予算(第1号)	予算特別	7. 15	原案可決
同	2	昭和57年度北海道工業団地開発事業会計補正予算(第1号)	[id]	同	同
同	3	北海道ウタリ子弟大学等修学資金貸付条例案	厚 生	同	同
同	4	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	同	[17]
同	5	障害に関する用語の整理のための北海道職員の給与に関する条例等の一部を 改正する条例案	[ri]	同	同
買	6	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	[11]	[ri]	[11]
同	7	農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例及び過 疎地域における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	 ui]	[6]	[i.i]
同	8	北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案	商工労働	[7]	[4]
闻	9	国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案	農地開発	同	同
同	10	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改 正する条例案	総 務	同	 同
同	11	札幌郡広島町と空知郡南幌町との境界変更の件	hij	[ក]	[ii]
同	12	石狩湾新港管理組合規約の一部改正に関する件	建 設	[7]	[7]
同	13	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	[11]	[d]	同
同	14	工事請負契約の締結(北海道立自閉症児施設新築工事)に関する件	厚 生	[si]	同
同	15	工事請負契約の締結(北海道立中央乳児院改築工事)に関する件	同	同	同
闻	16	工事請負契約の締結(愛別ダム建設工事)に関する件	建設	[17]	同
同	17	工事請負契約の締結 (新女満別空港整備 (本体土工) 工事第1 工区) に関する件	间	同	同
间	18	工事請負契約の締結(十勝川流域下水道帯広幹線管きょ新設(第2工区)工事)に関する件	[17]	[ਜ਼ੋ]	[6]
同	19	工事請負契約の締結(石狩川流域下水道管きょ新設(第1工区)工事)に関する件	同	同	 (i]
同	2 0	工事請負契約の変更(新中野治水ダム建設工事)に関する件	同	同	同
同	21	工事委託契約(高見ダム建設工事)の変更に関する件	[ii]	[it]	[[i]
同	22	財産の取得(連続血管撮影装置一式)に関する件	総務	þi	[ii]
同	2 3	財産の取得(全身用コンピューター断層撮影装置一式)に関する件	[ii]	同	间
同	24	简	同	间	同
同	25	財産の取得 (シンチレーションカメラシステム一式) に関する件	同	同	同
同	2 6	財産の取得(医療用ライナック装置一式)に関する件	同	同	间
同	27	財産の取得(起倒型多軌道断層撮影装置一式)に関する件	同	同	[ii]
同	28	財産の取得(苦小牧東部工業基地川地)に関する件	[4]	闻	同
同	29	財産の取得(心臓血管エックス線総合診断装置一式)に関する件	厚 生	[17]	同
同	30	財産の取得(マルティグ風景等の絵画)に関する件	文教林務	同	μij

提出月日	番号	件	名		付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 2 6	1	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道十勝支庁庁舎改築第4期工事〕6月7日具	青負契約の締結に関する件(コ ラ沢処分〕	上海	総務	7. 15	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 松山美瑛線道路改良工事〕5月31日専決処分		道道	建設	同	[17]
[17]	3	専決処分報告につき承認を求める件 [工事記 道室闌工業高等学校改築第4期工事) 5月1	青負契約の締結に関する件(1 7日専決処分〕	比海	文教林務	同	间
þij	4	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道札幌西区第1高等学校新築工事〕5月17日	請負契約の締結に関する件(コ 日専決処分】	上海	[11]	间	间
同	5	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道函館西高等学校改築第3期工事〕5月17日		上海	同	同	同
同	6	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道札幌豊平区高等学校新築工事〕5月17日		上海	同	同	间
同	7	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道当別高等学校改築第3期工事〕5月17日		比施	同	同	同
间	8	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道苫小牧工業高等学校改築第2期工事〕5月		上海	同	同	[ii]
间	9	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道俱知安農業高等学校改築第3期工事〕5月	請負契約の締結に関する件(オ 月20日専決処分〕	上海	同	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道札幌東区高等学校新築工事〕5月20日専治	青負契約の締結に関する件 (は 中処分]	上海	[11]	同	[1]
间	11	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道北見地区高等学校新築工事) 5月20日専治	青負契約の締結に関する件(コ 中処分〕	上海	[ii]	同	同
[11]	12	専次処分報告につき承認を求める件〔工事記 道白糖高等学校改築第3期工事〕5月20日	清負契約の締結に関する件 (コ 専決処分]	比海	同	同	同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道森高等学校改築第2期工事)5月20日専治		比海	同	同	同
间	14	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道名寄工業高等学校改築第2期工事〕5月2	請負契約の締結に関する件 (コ 0日専決処分]	上海	同	同	[1]
[元]	15	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道深川西高等学校改築第3期工事〕5月31日	請負契約の締結に関する件 (コ 日専決処分]	比海	[μί]	[17]	同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件 [工事] 道小樽工業高等学校改築第3期工事) 5月3	青負契約の締結に関する件(ま 1日専決処分〕	比海	[司]	同	[11]
间	17	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道札幌白石区高等学校新築工事〕6月4日	青負契約の締結に関する件(: 専決処分]	比海	司	同	同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道広島地区高等学校新築工事) 6月4日専治		比海	同	同	同
间	19	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道旭川南高等学校改築第2期工事〕6月4日	情負契約の締結に関する件 (コ 日専決処分]	比海	同	同	同
[1:1]	2 0	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道釧路地区高等学校新築工事) 6月4日専治		比海	同	同	同
[ii]	21	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道高等盲学校改築工事〕6月4日専決処分〕	青負契約の締結に関する件 (ご	比海	[6]	同	同
同	22	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道美深高等学校改築第3期工事)6月4日		比海	同	同	同
[ii]	2 3	専決処分報告につき承認を求める件〔工事記 道夕張工業高等学校改築第4期工事) 6月4	青負契約の締結に関する件(ま 4日専決処分〕	比海	同	同	同

提出月日	番号	件	名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 26	24	専決処分報告につき承認を求める作〔工事請負契 道伊達地区高等学校新築工事)6月4日専決処分	約の締結に関する件(北海]		7. 15	承認議決
闻	25	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道中札内地区高等養護学校新築工事〕6月4日専	約の締結に関する件(北海 決処分〕	同	同	[17]
同	26	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道中札内地区高等養護学校寄宿舎新築工事)6月	約の締結に関する件(北海 4日専決処分〕	同	同	闰
同	27	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道芽室高等学校改築工事) 6月4日専決処分〕	約の締結に関する件(北海	同	同	同
同	28	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道札幌西区第3高等学校新築外構工事)6月7日	約の締結に関する件(北海 専決処分]	[4]	同	[1]
同	29	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道札幌西区第2高等学校新築工事) 6月7日専決	約の締結に関する件(北海 処分〕	同	间	[7]
同	30	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道東川地区養護学校新築工事) 6月7日専決処分	約の締結に関する件(北海]	同	Ţ.	同
同	31	専決処分報告につき承認を求める件 [工事請負契 道石狩地区高等学校新築工事) 6月7日専決処分	約の締結に関する件(北海]	同	同	闰
同	32	専決処分報告につき承認を求める件 [工事請負契 道旭川地区高等学校新築工事) 6月7日専決処分	約の締結に関する件(北海]	同	同	同
同	33	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道美幌農業高等学校改築第3期工事〕6月7日専		同	司	间
同	34	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道七飯地区高等学校新築工事) 6月7日専決処分	約の締結に関する件(北海 〕	同	[1]	同
同	35	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 道北見柏陽高等学校改築第2期工事〕6月7日専		间	间	同
同	36	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契 方面本部・旭川東警察署総合庁舎新築工事〕6月	約の締結に関する件(旭川 7日専決処分〕	総務	间	同
同	37	昭和56年度北海道継続費繰越計算書報告の件				報告のみ
同	38	昭和56年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件				[ជ]
同	39	昭和56年度北海道事故繰越し繰越計算書報告の件				同
同	40	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件				[ii]
同	41	北海道土地開発公社の経営状況に関する件				同
阎	4 2	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する	件			同
同	4 3	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の	経営状況に関する件			同
同	44	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況	に関する件			同
同	45	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する	件			同
同	4 6	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関	する件			同
闰	47	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況	に関する件			同
同	48	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況	に関する件			同
同	49	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に	関する件			[6]
同	5 0	財団法人北海道教育施設整備公社の経営状況に関	する件			[6]
同	51	株式会社北海道生薬公社の経営状況に関する件				jīd
闻	5 2	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関す				[1]

提出月日	番号	件名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 26	53	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			報告のみ
同	54	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	55	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	56	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	57	財団法人北海道環境衛生営業指導センターの経営状況に関する件			[4]
同	58	財団法人北海道勤労者福祉協会の経営状況に関する件		1	同
[μτ]	59	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更(工事請負契約の締結、昭和56年 月16日承認を得た報告第7号に係るもの)に関する件、4月19日専決処分〕	7		同
间	60	専決処分報告の件〔損害賠償の額の決定、4月15日1件、4月19日3件、 月1日1件、5月10日1件、5月14日1件、6月4日1件、6月5日2件 決処分〕	5		同
7. 7	61	昭和56年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 15	継続審査
问	62	昭和56年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	63	昭和56年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	64	昭和56年度北海道電気事業会計決算に関する件	间	间	同
间	65	昭和56年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	可	[i]
间	66	昭和56年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
闻	67	昭和56年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	间	同	[i]

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件	名	付 託 委員会	議決月日議事結果
56.12.8	2	昭和55年度北海道各会計歳入歳出決算に関する作	‡	決算特別	6. 26 意見を付 し認定議 決

第2回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件	名	提	出	者	議決月日	議事結	果
7. 15	1	衆議院議員佐藤孝行君の議員辞職を	求める決議	湯本芳 人	志議員	ほか33	7. 15		決

意 見 案

提出月日	番号	件名	提	出	者	議決月日	議事結果	備	考
6. 26	1	昭和57年産生産者米価等に関する要望意見書	若狭靖	「議員に	tか12人	6. 26	原案可決	農	務
7. 15	2	農業・林業・水産業各普及事業の充実強化に関する 望意見書	若狭如	議員に	まか35人	7. 15	同	農産・	・ 水 文林
同	3	航空運賃、航空路に関する要望意見書	青山正	男議員	ほか・ 12人	同	[4]	総	務
同	4	国鉄の経営形態に関する要望意見書		同		同	同		司
同	5	積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度終了後の対策に する要望意見書	藤井虎	雄議員	ほか 12人	同	同	商工	労働
同	6	低カロリーガス化発電プラントに関する要望意見書		同		同	同		[id]
同	7	老朽化の火力発電所の設備更新に関する要望意見書	宇川源	吉議員	ほか 14人	同	同	石炭特	対策別
同	8	運輸政策審議会の答申に関する要望意見書	青山正	男議員	iほか 12人	同	同	総	務
同	9	北海道開発庁の存続に関する要望意見書	吉田政	(一議)	しほか 2 6人	同	同	総合特	開発 別

前会から継続審査中の案件

懲 罰 動 議

提出月日	件	名	提	出	者	議決人	月日	議事	吉果
3. 26	懲罰動議		池島信	吉議員	ほか 24 人	7.	3	撤	[0]

決議案第1号

(湯本芳志議員ほか33人提出) 7月15日 否決

衆議院議員佐藤孝行君の議員辞職を求める決議

本年6月8日、東京地裁は「戦後最大の疑獄事件」といわれる、ロッキード事件・全日空 ルートの公判で、本道選出の衆議院議員佐藤孝行君に対して、「有罪」判決を下した。

この判決によれば、事件の重点である現金の授受、請託の存在、賄賂性の認識など全てに わたり明らかにされており、かかる判決が出された以上、政治家としてその政治的道義的責 任をとり、出処進退を明確にすることは当然の理である。

しかるに、佐藤孝行君は今日に至るも反省の意を示さず、逆に国民の政治に対する信頼を 著しく失墜させる態度をとり続けていることは、誠に遺憾である。

この事態を許すことは、民主主義政治の基盤を崩すことにつながり、特に本道出身の選良であるべき議員の態度としては、到底看過することはできない。

よって佐藤孝行君は、その責めを負って議員の職を辞すべきである。 右決議する。

昭和57年7月15日

北海道議会議長 松 浦 義 信

衆議院議員 佐藤 孝行 殿

意 見 案

意見案第1号

(岩狭靖議員ほか12人提出) 6月26日 原案可決

昭和57年産生産者米価等に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に、国民食糧の安定的な供給に重要な役割りを果たしている。

しかしながら、農業をめぐる情勢は、近年、一段と厳しさを増しており、特に、基幹部門である稲作は、水田利用再編第二期対策の実施によって、水田本地面積の50パーセントにも及ぶ転作を余儀なくされ、加えて、2年続きの冷災害による減収など極めて困難な状況のもとに置かれている。

稲作農家は、これらの困難な事態に耐えつつ、更に一層、良質米の生産に全力をあげ努力しているが、最近における生産資材、労賃等の上昇、更には追加投資等に伴う借入金の増大などにより、農家の経営は一層苦しいものとなっているので、国におかれても、このような厳しい事態を十分配慮され、当面する生産者米価等について、次により決定されるよう強く要望する。

å

- 1. 昭和57年産米政府買入価格については、稲作農家の経営実態を十分配慮するとともに、 物価、賃金の動向を勘案し、再生産が確保できる米価18,251円(60キログラム)とするこ と。
- 2. 政府買入価格の類別格差については、これを現行以上に拡大しないこと。

- 3. 米の消費拡大対策を拡充強化するとともに、道産米の消費拡大に一層配慮すること。
- 4. 道産米の流通拡大のため、引き続き特別自主流通米に対する適正な助成措置を講ずること。
- 5. 稲作農家の経営安定を図るために必要な長期低利資金の融通など金融対策を抜本的に拡 充強化すること。
- 6. 食糧管理制度の根幹を堅持するとともに、その運用に当たっては、本道稲作農家の経営 が図られるよう十分配慮すること。
- 7. 稲作経営の安定を期すため、生産費の大半を占める農業生産資材の価格抑制対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 各通 農林水産大臣

意見案第2号

(岩狭靖議員ほか35人提出) 7月15日 原案可決

農業・林業・水産業各普及事業の充実強化に関する要望意見書

農業・林業・水産業関係普及事業は、本道一次産業の要として科学的な知識・技術の普及 を通して、農・林・水産業の生産性及び家庭生活の向上に大きく貢献してきた。

しかし、第二次臨時行政調査会が部会報告の中で、人件費補助については「2年以内に原則として、一般財源措置に移行する」ことを明らかにしたことは、本道一次産業の発展と福祉の向上を目的とする普及事業の推進にとって極めて遺憾なことである。

今日、一次産業を取り巻く諸情勢は極めて厳しく、経営の近代化、生活の改善、優れた後継者育成確保、農漁村地域社会の連帯感の醸成及び生活環境施設の整備など、地域の実態に即して総合的かつ計画的に実施する普及事業に課せられた使命は、重大なものがある。

よって、政府は、これらの実情を深く考慮し、普及事業の推進を一層図るため、本制度の 堅持と強化について、より積極的な措置を講ぜられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣 自治大臣、行政管理庁長官

意見案第3号

(青山正男議員ほか12人提出) 7月15日 原案可決

航空運賃、航空路に関する要望意見書

北海道は、中央からの遠隔の最北端に位置し、広大な面積を有しており、道内外の旅行者 の時間、距離を飛躍的に短縮できる航空交通は、経済活動や道民生活にとって極めて重要な 役割りを果たしている。 しかしながら、北海道に係る航空運賃は総体的に割高であり、例えば、九州との比較においても本年1月の値上率は、北海道が高くなっている。

また釧路など道東から首都圏への航空路は、総て千歳上空を経由する遠回りのルートになっている実情にある。

よって、国においては、左記事項の実現につき、所要の措置が講ぜられるよう強く要望する。

記

- 1. 航空運賃の格差是正を図ること。
- 1. VOR航空路の早期再編成を行い、短絡ルートを設定すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、運輸大臣 各通北海道開発庁長官 各通

意見案第4号

(青山正男議員ほか12人提出) 7月15日 原案可決

国鉄の経営形態に関する要望意見書

本道は、広大な土地や豊かな資源に恵まれ、我が国においても最も発展の可能性に富んだ地域であり、今後、開発の進展に伴って輸送需要の増加が見込まれるなど、公共輸送の基幹をなす国鉄の果たす役割りは、将来とも大きく、その整備強化が必要とされている。

現在、臨時行政調査会において、国鉄の民営化等について検討が行われているが、仮に、これがそのまま実施された場合、本道の路線の多くは廃止に追い込まれるおそれがあることから、本道国鉄の分割民営化については、到底納得できないものである。

よって、発展可能性に富んだ本道の実態を十分認識され、国鉄のもつ機能や特性が確保されることとなるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、運輸大臣 行政管理庁長官、北海道開発庁長官 各通

意見案第5号

(藤井虎雄議員ほか12人提出) 7月15日 原案可決

積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度終了後の対策に関する要望意見書

積雪寒冷地の本道においては、冬期間の産業活動が著しく制約され、雇用面にも大きな影響が及んでいる。

殊に、屋外事業等の操業時期が限定されることによって、季節的に循環雇用を繰り返す季節労働者は約30万人を数え、その大半が建設業を中心として夏期に就労する専業型労働者で占められており、冬期間は離職を余儀なくされる実情にある。

本道としては、これまで季節労働者の雇用についての諸施策を推進してきたが、なかでも

積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度は、対策の主要な柱としての役割りを果たしてきた。

この制度は、昭和57年度をもって終了するが、その後の対策としては、冬期の雇用を促進して通年雇用に結びつける施策が必要であるので、賃金に対する定率助成を原則とし、就労形態に応じての定額助成を併せた雇用奨励制度の創設について特段の配慮をされるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 各通 各通

意見案第6号

(藤井虎雄議員ほか12人提出) 7月15日 原案可決

低カロリーガス化発電プラントに関する要望意見書

サンシャイン計画に基づく新エネルギーの技術開発の推進は、生活文化の向上、産業の発展に伴い増大したエネルギー需要に適切に対処するために重要な課題であると考える。

本道においては、この計画に基づき、研究開発を進めている石炭処理量 1日当たり1,000トンを目標とする低カロリーガス化発電プラントを本道に建設し、総合的な石炭利用センターとして活用することを強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通通商産業大臣、北海道開発庁長官 }

意見案第7号

(宇川源吉議員ほか14人提出) 7月15日 原案可決

老朽化の火力発電所の設備更新に関する要望意見書

本道の内陸火力発電所の中には、建設してから20年以上経過し、既に耐用年数を過ぎたものもあり、これらの発電所の廃止が計画されている現状にある。

しかるに、道内一般炭の約46パーセントが内陸火力発電所に供給されている実情にかんが み、第7次石炭答申にも述べられているごとく、今後とも電力用炭の大口需要の確保を図る 必要がある。

かかる観点から、老朽化した火力発電所の設備を更新して、できるだけ長期にわたって石 炭の需要が図られるよう特段の配慮をされたい。

右地方自治法第99条第2項の規定による提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 各通通商産業大臣

(青山正男議員ほか12人提出) 7月15日 原案可決

運輸政策審議会の答申に関する要望意見書

「長期展望にもとづく総合的な交通政策の基本方向」と題した昨年7月6日付の運輸政策 審議会の答申は、わが国の今後における望ましい交通体系形成の指針として出されたもので あるが、その内容は、多くの問題を内包している。

周知のように、積雪寒冷で面積広大な本道においては、道民生活の安定向上や産業経済の 振興を図る上で、公共交通機関の果たす役割りは大きく、今後一層この面の施策の展開が求 められている。

よって、政府においては、本道の実情と発展の可能性を深く考慮され、施策の反映にあたっては、公共交通の整備拡充が図られるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通運輸大臣、建設大臣、自治大臣 }

意見案第9号

(吉田政一議員ほか26人提出) 7月15日 原案可決

北海道開発庁の存続に関する要望意見書

北海道議会においては、昨年12月北海道開発庁の存続を決議し、要望してきたところであるが、先般、臨時行政調査会第2部会において、北海道開発庁を国土庁に統合する旨の提言がなされたことは極めて遺憾である。

北海道の開発は、国土開発の一貫として北海道開発法のもとで進められ、今日に至っているが、国土開発政策にかかわる十分な審議を伴わない行政機構のみの統合意見は、行政改革の本旨にそわないものである。

よって、今後とも北海道開発庁を存続させるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、内閣官房長官 総理府総務長官、行政管理庁長官 各通 北海道開発庁長官

請願・陳情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件	名	請	願	者	付 託 委員会	審査の 結果
158	憲法改悪に連なる「国家機密保護法」 促進決議等に反対の件	(スパイ防止法)制定	日本国民	救援会北海 木	毎道本部 公田 忠雄	総務	継続審査
159	北海道立農業高等学校に造園科の設置	を求める件		園組合連合 稲澤 六郎	合会 郎ほか1人	文教林務	[7]

陳 情

文書表番 号	件	名	陳	情	者	付 託 委員会	審査の 結 果
7 9	愛国児童館建設に関する件		愛国児童 会長	館建設促 横沢 謙	進委員会 三ほか8人	厚 生	継続審査
80	元軍人軍属恩給欠格者の救済に防	見する件 :	全国軍人 北海道連	軍属恩給 合会代表	欠格者連盟 岡川文雄	同	同
81	江別市に北海道立高等学校(普通	通科)の新設を求める件	誘致をす	すめる期	学校の新設 或会 孚ほか 2 人	文教林務	[7]
82	北海道星置養護学校に高等部の記	投 置を求める件	,樽支部		父母の会小 蔵ほか2人	同	间

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表	件名	付託委員会	審査の結果	
153	道立中標津保健所専任所長配属を求める件	厚 生	採択	
142	電力立地・電力需給計画・電力コストの見直しを求める件	商工勞働	収下げ	
143	共和・泊原子力発電所1・2号機の計画撤回を求める件	[11]	同	
146	共和・泊原子力発電所の建設促進を求める件	[f]	同	
147	同	同	同	
148	[6]	[4]	同	
144	原子力発電所が農業経営、農作物等に与える影響の審議を求める件	農務	同	
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	建 設	同	
150	共和・泊原子力発電所設置に関する温排水による影響の再評価を求める件	水 産	同	
145	共和・泊原子力発電所1・2号機に係る社会的・経済的影響の評価を求める	件 公害対策 特 別	间	

陳 情

文書表 番 号	件	名	付託委	付託委員会		審査の結果	
76	豊平川アユの会への助成の件		総	務	不报	. 択	
77	「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃条約」を早期担 する決議を求める件	と准するよう政府等に要請	F	同		議決不要	
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件		建	設	採	択	
13	· [fi]		F	j	Ā	j	

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表番 号	件名	付託委員会	
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総	務
24	登別市に警察署設置の件	同	
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同	
100	指名競争入札の執行に関する件	[II]	
115	樺太会館建設に関する件	គ្រ	
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律(非核3原則法)」の制定促進に関する件	同	
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行財政改 革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	同	
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	[fi]	
155	つり人対策に関する件	同	
157	たばこ専売制度存紀に関する件	[1]	
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚	生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	[4]	
8	道立病院の拡充強化を求める件	同	
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同	
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	[4]	
44	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同	
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同	
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	可	
53	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同	
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	
55 🕻	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同	
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	国	
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築・拡充を要求する件	词	
61	道立内部障害者更生指導所の美唄市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同	
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同	
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同	
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	词	
107	特別養護老人ホーム増設の件	同	
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	同	
118	老人保健法(案)の制定に関する件	同	
119	医療法の一部改正に関する件	同	
120	医業税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	Ī	
121	療養担当手当の引上げに関する件	同	

文書表 番 号	件 名	付託委	員会
134	難病検診と道立江差病院診療充実に関する件	厚	生
140	精神衛生社会生活適応施設の設立に関する件	ri]
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商工	労働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	fri]
151	労働行政職員の増員による行政体制確立に関する件	Įπ]
152	積寒給付金制度の改善・継続と季節労働者の雇用対策に関する件	[4]
154	農業者年金基金制度改善に関する件	農	務
69	道営住宅の敷金還付に関する作	建	設
156	つり人対策に関する件	水	産
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	文教	林務
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件		J
14	道立普通科高校の設置に関する件	Щ]
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	Ē]
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	я]
27	学値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	Į́π]
28	美唄養護学校の機能充実の件	ព្រ]
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	司	
31	養護学校設置に関する件	Ħ]
32	公立高校の増設、小学区制の回復(都市部での総合選抜制)、私学生徒への大幅な公費助成の実 現を求める件	Ē]
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	ក]
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	百]
42	障害児学校寄宿舎教職員(寮母)の勤務条件改善に関する件	[si]
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	ī	j
98	宿日直員の待遇改善に関する件	ត្រ	J
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求め る件	ķi]
103	留萌南部地区(留萌市・増毛町・小平町)高等学校普通科問口増設に関する件	[F]
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と56年・57年「ヒノエウマ」の 生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	间	
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同	
135	学校の主任制度・手当支給の撤廃を求める件	Ē	J
136	40人学級の早期実現・教科書無償制度の維持・私学助成の拡大等・教育予算大幅増額を求める件	F]
137	江別市に全日制道立普通科高等学校の新設を求める件	- -	ij
138	北海道立高等学校(全日制普通科)の江別市内新設を求める件	Ī	ij
139	私学の学費値上げをおさえ、父母負担と教育条件の公私格差を是正するために、私学助成の大幅な増額を求める件	F	ij

文書表番 号	件	名	付託委員会
68	合成洗剤追放に関する件		公害対策 特 別_

陳 情

文書表 番 号	件名	付託書	会員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総	務
64	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同	
65	「郵貯懇を見守ること」に関する件	同	
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同	
70	郵便貯金問題に関する件	F	ī]
74	江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件	同	
75	総合助燃触媒ターボエース(灯油用)に係るテスト結果の相違を解決する方策に関する件	Ī	1
78	塩専売制度の存続に関する件	同	
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚	生
19	道立和光学園の廃止反対の件	同	
2 8	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	Ī	=
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	Į į	- 司
2 9	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農	務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建	設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	Ī	1
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同	
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務	
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同	
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同	
71	札幌盲学校の名称変更の件	同	
72	道立高等看護学院を専修学校又は各種学校として設置・管理すること等に関する件	同	

委員会の動き

議会運営委員会

〇6月25日(金)午後3時7分、議会運営委員会室において開議、午後3時13分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件 について説明。
- ② 代表質問の通告は、6月29日正午までとすることを了承。
- ③ 一般質問について、順位は従来の例により 取り進めることとし、10番目の順位は自民党 と公明党における調整の結果、公明党とする こと、通告は7月1日正午までとすることを 了承。
- ④ 予算特別委員会について、(1)構成は、31人 (自民17人、社会9人、道政3人、公明及び 共産各1人)(2)分科会は、2分科会各15人、 派各別委員数は各派間の調整によること、(3) 正副委員長の配分は、本委員会の委員長は社 会、副委員長は自民、第1分科会の委員長は 社会、副委員長は自民、第2分科会の委員長 は自民、副委員長は社会とすること、(4)設置 動議の提出は社会とすることを了承。
- ⑤ 企業会計決算特別委員会について、(1)構成 は、委員19人(自民11人、社会5人、道政2 人、公明1人)とすること、(2)正副委員長の 配分は、委員長は社会、副委員長は自民とす ること、(3)委員名簿の提出は7月6日正午ま でとすること、(4)設置動議の提出は社会とす ることを了承。
- ⑥ 議案調査のため、6月28日から6月30日まで休会とすることに決定。
- ⑦ 農務委員会において発議予定の要望意見案 について、提出された場合、明日の本会議に おいて議決する扱いとすることに異議なく了 承。
- ⑧ 6月26日の本会議議事順序について、明日 協議することとした。

O 6 月26日(土) 午前9時40分、議会運営委員 会室において開議、午前9時 42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 意見案第1号について、本日の本会議において 議決する 扱いとすることに 異議なく 決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(開会)

日程第1 会議録署名議員の指定 諸般の報告

日程第2 会期決定の件(6月26日から7月15日まで20日間)

口程第3 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継読審査の報告第2号 決算特別委員長の報告

(討論)

1. 本間喜代人議員の報告第2号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 報告第2号を問題とし、委員長報告 (意見を付し認定議決)のとおり決す ることについて起立により採決

(共産反対)

日程第5 意見案第1号

意見案第1号 昭和57年産生産 者米価等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

議案調査のための休会日の決定 (6月28日から6月30日まで)

○7月1日(木) 午前10時51分、議会運営委員 会室において開議、午後4時 47分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

① 懲罰特別委員長から、現在までの審査経過

の概要について中間報告の申し出がある旨報 告、本日の本会議冒頭これを行うことに異議 なく決定。

- ② 代表質問の通告(4人)について報告。本 日2人、明日2人とすることに決定。
- ③ 農務委員長が北海道稲作農業を守る代表者 大会に議長代理として出席すること及び本日 の本会議欠席について了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前10時54分休憩、午後4時46分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 小野秀夫君に対する懲罰の件 懲罰特別委員長の中間報告

日程第2 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 質疑並びに一般質問(代表質問 2人)

- ⑤ 総務部長から、萩上元春議員(社会)の再 質問に対する知事の答弁準備になお時間を要 する旨発言があって、本日の本会議はこの程 度にとどめ延会することに決定。
- 〇7月2日(金)午前9時40分、議会運営委員
会室において開議、午前9時42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、萩上元春議員(社会)の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は萩上議員の再質問に対する知事の答弁から入ることをはかり、異議なく了承。
- ② 本日の本会議の議事は、代表質問4人の予定で取り進めることに決定。
- ③ 一般質問の通告(13人)について報告。個人別順位については議事課長説明のとおりとすること及び3日3人、6日4人、7日4人、8日2人とすることに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報

告第1号ないし第36号 質疑並びに一般質問(代表質問 4人)

〇7月3日(土)午前9時40分、議会運営委員
会室において開議、午前9時
46分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 池島信吉議員(社会)ほか23人から議長に対し、議員小野秀夫君に対する懲罰動議の撤回請求があった旨報告、本日の本会議冒頭において承認することをはかり、異議なく決定。
- ② 一般質問の通告内容の変更及び取り下げに ついて了承の後、本日は一般質問3人を行う ことに決定。
- ③ 議案調査のため7月5日は休会することについてはかり、異議なく決定。
- ④ 中央折衝のため、農務委員長及び委員4人 の上京について了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取 り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 小野秀夫君に対する懲罰の動議 撤回の件

(採決)

1. 本件を承認することについて簡易採択

日程第2 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 質疑並びに一般質問(一般質問

3人)

議案調査のための休会日の決定 (7月5日)

〇7月6日(火) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午前9時42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、明日追加提出予定の案件に ついて説明、異議なく了承。
- ② 一般質問の 通告内容 等の 変更 について了 承。
- ③ 一般質問について、本日3人を行うことに

決定。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 質疑並びに一般質問(一般質問 3人)

〇7月7日(水) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午前9時42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、追加提出議案に関する説明があり、本日の本会議において、神本三也議員(社会)の一般質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として提案説明を行うことに決定。
- ② 一般質問の 通告内容等 の 変更 について了 承。
- ③ 一般質問について、本日5人行うことを了 承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 質疑並びに一般質問(一般質問 1人)

◎日程第1の議事中止

追加日程 報告第61号ないし第67号 追加提出議案に関する知事の説 四

- ◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続(一般質問4人)
- 〇7月8日(木)午前9時39分、議会運営委員
会室において開議、午後2時
5分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

① 総務部長から、7月6日の本会議の一般質 間における吉野之雄議員(社会)の特別発言 に関する知事答弁について、訂正の申し出が あり、これを了承、会議録を訂正する扱いと することをはかり、異議なく決定。

- ② 一般質問の通告内容等の変更申し出について了承。
- ③ 一般質問について、本日3人行うことを決定。
- ④ 予算特別委員会の各会派別分科委員数について、決定した旨報告。
- ⑤ 予算及び企業会計決算特別委員会名簿について、各派から提出があった名簿のとおり、 選任すること、設置動議は、岩崎守男議員(社会)に提出願うことを了承。
- ⑥ 議案の各委員会付託について、事務局長説 明のとおりとすることに決定。
- ⑦ 各委員会付託議案審査のため、7月9日か ち7月14日まで休会し、7月15日再開するこ とに異議なく決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第30号、報告 第1号ないし第36号及び第61号 ないし第67号

質疑並びに一般質問(知事の答 弁訂正申し出についての議長発 言・一般質問3人)

(質疑終結宣告)

- ○予算及び企業会計決算特別委員会設置
- ○予算及び企業会計決算特別委員の選任
- ○議案の各委員会付託

各委員会付託議案調査のため休会の決定 (7月9日から7月14日まで)

○7月15日(木) 午後4時26分、議会運営委員 会室において開議、午後8時 18分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

(1) 予算特別委員会及び各常任委員会における 付託議案等の審議状況について報告の後、本 日の本会議は取りあえず会議時間を延長する ことに決定。午後4時27分休憩、午後8時10 分再開。

- ② 各委員会付託議案は 議了した 旨 報告。 な お、企業会計決算特別委員会において審査中 の報告第61号ないし第67号は本日の委員会に おいて継続審査の扱いとすることに決定した 旨報告。
- ③ 決議案第1号の提出があった旨報告、本件の取り扱いについて和田勝之委員(自民)から発言があった後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 意見案第2号ないし第9号の提出があった 旨報告。本日の本会議において議決する扱い とすることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 各関係委員長から審査報告のあった請願・ 陳情について、本日の本会議において議決す る扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取 り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第36号 予算特別、厚生、総務、商工労働、農地開発、建設、文教林務 各委員長報告

(討論)

1. 川崎守議員の議案第1号ないし第3 号、第9号、第12号及び第28号に関 する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第28号を問題とし、委員長報告 (可決)のとおり決することについて 起立により採決

(社会、公明、共産反対)

- 2. 議案第1号ないし第3号、第9号及び第12号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)
- 3. 議案第4号ないし第8号、第10号、 第11号、第13号ないし第27号、第29号、 第30号及び報告第1号ないし第36号を

問題とし、委員長報告(議案はすべて 可決、報告は承認議決)のとおり決す ることについて簡易採決

日程第2 決議案第1号

決議案第1号 衆議院議員佐藤 孝行君の議員辞職を求める決議 湯本芳志議員の決議案第1号に 関する説明

(委員会付託省略)

(討論)

- 1. 佐々木行雄議員の決議案第1号に関 する反対討論
- 2. 工藤啓二議員の決議案第1号に関する 質成討論
- 3. 小田部善治議員の決議案第1号に関 する反対討論
- 4. 本間喜代人議員の決議案第1号に関 する賛成討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて起立により採決

(自民、道政反対)

日程第3 意見案第2号ないし第9号 意見案第2号 農業・林業・水 産業各普及事業の充実強化に

関する要望意見書

意見第3号 航空運賃、航空路 に関する要望意見書

- 意見案第4号 国鉄の経営形態 に関する要望意見書
- 意見案第5号 積雪寒冷地冬期 雇用促進給付金制度終了後の 対策に関する要望意見書
- 意見案第6号 低カロリーガス 化発電プラントに関する要望 意見書
- 意見案第7号 老朽化の火力発 電所の設備更新に関する要望 意見書
- 意見案第8号 運輸政策審議会 の答申に関する要望意見書 意見案第9号 北海道開発庁の 存続に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願、陳情審査の件

(採択3件 不採択1件)

(委員長報告省略)

(採決)

- 1. 本件をいずれも請願陳情審査報告書のとおり決することについて簡易採決
- ○閉会中継続審査の件 企業会計決算特別委員長から報告第 61号ないし第67号について申し出の とおり閉会中継続審査に付すること について簡易採決

各常任委員長並びに公害対策特別委 員長から申し出のとおり閉会中継続 審査または調査に付することについ て簡易採決

○議長の閉会あいさつ

常任委員会

総務委員会

〇6月25日(金)午後1時30分、第5委員会室において開議、午後1時55分散会

委員長 青山 正男(自民)

一般 議 事

- ① 総務部長及び警察本部総務部長から、第2 回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、待命大使について報告。
- ③ 保格博夫委員(社会)から、総会屋、暴力 団及び暴走族の現状と対策について 質疑があり、警察本部刑事部長から答弁。
- 〇7月6日(火)午前11時50分、第5委員会室
において開議、午前11時52分
散会
委員長 青山 正男(自民)

一般議事

- 総務部長から、第2回定例会追加提出予定 案件について説明。
- 〇7月15日(木)午後6時2分、第5委員会室
において開議、午後6時22分
散会散会委員長 青山 正男(自民)

付託案件の審査

① 議案第4号(北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案)、議案第5号(障害に関する用語の整理のための北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例案)、議案第7号(農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例及び過疎地域における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例を)、議案第10号(警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案)及び議案第11号(札幌郡広島町と空知郡南幌町との境界変更の件)を順次議題とし、総務部長及び警察本

部警務部長から説明の後、異議なく原案のと おり可決することに決定。

- ② 議案第22号ないし議案第27号(財産の取得 に関する件)を一括議題とし、総務部長から 説明の後、異議なく原案のとおり可決するこ とに決定。
- ③ 議案第28号(財産の取得に関する件)を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、公明反対)をもって、原案のとおり可決することに決定。
- ④ 報告第1号及び報告第36号(専決処分報告 につき承認を求める件)を議題とし、総務部 長及び警察本部総務部長から説明の後、異議 なく原案のとおり承認議決することに決定。 付託案件に対する委員長報告については、委 員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- ② 委員長から、国鉄の経営形態に関する要望 意見案、航空運賃、航空路に関する要望意見 案及び運輸政策審議会の答申に関する要望意 見案について、配付の案文により発議するこ とをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、航空運賃及び航空路の改善に 関する中央折衝の実施についてはかり、異議 なく決定。実施時期等については、委員長に 一任することとした。
- ④ 生活環境部長から、昭和56年度北海道道民 生活安定条例の施行状況について報告。
- 〇7月16日(金)午前10時40分、第5委員会室において開議、午前10時52分散会

委員長 青山 正男(自民)

一般議事

- ① 委員長から、道内における調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長

から、昭和58年度北海道開発関係予算について説明。

厚生委員会

〇6月25日(金)午前10時5分、第9委員会室において開議、午前10時9分散会

委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会 提出予定案件について説明。
- 〇7月15日(木)午後5時58分、第9委員会室において開議、午後6時6分散会

委員長 石山 直行(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第3号(北海道ウタリ子弟大学等修学 資金貸付条例案)を議題とし、民生部長から 説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙 手多数(共産反対)をもって、原案のとおり 可決することに決定。
- ② 議案第14号及び第15号(工事請負契約の締結に関する件)を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第29号(財産の取得に関する件)を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- 〇7月16日(金)午前10時15分、第9委員会室
において開議、午前10時34分
散会
委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- ① 委員長から、道内厚生事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 民生部長及び衛生部長から、昭和58年度北 海道開発関係予算 重点 要望事項 について 説 明。
- ③ 民生部長から、無認可保育所の実態調査結果について報告の後、

川崎守委員(共産)から、ベビーホテルに 関し、調査の有無、認可施設にするための要 件具備の状況等について、(関連して関根建 二委員(社会)から、保育内容及び保母配置 に係る調査の有無について)

質疑及び要望があり、民生部長から答弁。

商工労働委員会

〇6月25日(金) 午後1時6分、第8委員会室 において開議、午後1時11分 散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、 第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、本委員会に付託されていた請願第146号、第147号及び第148号(いずれも共和・泊原子力発電所の建設促進を求める件)については、付託が取り消された旨報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した季節労働者対 策に関する中央折衝の概要について報告書に より報告、異議なく了承。
- 〇7月15日(木)午後5時58分、第8委員会室において開議、午後6時2分散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

付託案件の審査

○ 議案第8号(北海道工鉱業開発促進条例の 一部を改正する条例案)を議題とし、商工観 光部長から説明の後、異議なく原案のとおり 可決することに決定。付託案件に対する委員 長報告については、委員長に一任することと した。

一般議事

- ① 委員長から、低カロリーガス化発電プラント及び積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度終了後の対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、各要望意見案に関する中央折 衝の実施についてはかり、異議なく決定。実 施時期等については、委員長に一任すること とした。
- ③ 委員長から、付託の請願、陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中 継続調査の 申し出を することを はか り、異議なく決定。
- ○7月16日(金) 午前11時9分、第8委員会室 において開議、午前11時31分 散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、 昭和58年度 北海道 開発関係予算 について 説 明。
- ② 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ③ 小田原要四蔵委員(社会)から、北海道信用保証協会に関し、公共性の高い機関の会長が特定人の後接会に就任していることに対する見解、今後のあり方について会長と話し合う考えの有無について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長か ら答弁。

農務委員会

○6月25日(金) 午後1時34分、第7委員会室 において開議、午後2時25分 散会

委員長 若狭 靖(自民)

一般議事

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた請願第144号(原子力発電所が農業経営、農作物等に与える影響の審議を求める件)については、付託が取り消された旨報告。
- ② 委員長から、昭和57年産生産者米価等に関する要望意見案について、配付の案文により 発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝 の実施についてはかり、異議なく決定。実施 時期等については、委員長に一任することと した。
- ④ 農務部長から、昭和57年度主要農作物作付け動向について説明。
- ⑤ 農務部長から、昭和57年度水田利用再編対 策転作等実施計画について説明。
- ⑥ 農務部長から、第24回甘味資源審議会の概要について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、甘味資源審 議会の建議に関し、審議会の論議の内容、委 員の認識及び国、道の対処について 質疑があり、農務部長から答弁。

⑦ 岡本栄太郎委員(社会)から、農業団体の 米価算定方式、道の価格政策、会計検査院の 予約概算金中止の意見、道営競馬における薬 剤投与について

質疑があり、農務部長から答弁。

本日聴取した陳情

昭和57年生産者米価等に関する要請について 北海道農民連盟米対副委員長

〇7月15日(木)午後6時、第7委員会室において開議、午後6時2分散会委員長 若狭 靖(自民)

一般議事

- ① 委員長から、農業・林業・水産業各普及事業の充実強化に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、付託の請願・陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査

の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。

○7月16日(金) 午前10時43分、第7委員会室 において開議、午後零時23分 散会 委員長 若狭 靖(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外農業事情 調査及び昭和57年産麦の政府買入価格並びに 昭和57年産生産者米価等に関する中央折衝の 概要について報告書により報告、異議なく了 承。
- ② 委員長から、道内調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は8月3日から 8月5日まで、実施場所は、石狩、胆振、日 高管内とすることとした。
- ③ 農務部長から、雨不足による農作物への影響について説明。
- ④ 農務部長から、昭和58年度北海道開発関係 予算について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、マル寒資金 の延長、農業者に対する資金対策

神本三也委員(社会)から、米価審議会の 答申、米価算定方式と道の対策、乳製品高騰 及び牛乳生産滅の原因、道の対応

岡本栄太郎委員(社会)から、農協の貸出 しのあり方について

質疑があり、農務部長から答弁。

建設委員会

〇6月25日(金)午後1時21分、第4委員会室において開議、午後1時32分散会、委員長事故のため、副委員長・中川隆之(道政)

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定 例会提出予定案件について説明。
- ② 土木部長から、人札制度検討委員会において決定した工事請負契約に係る入札結果等の 公表について説明。

〇7月15日(木)午後6時、第4委員会室において開議、午後6時12分散会委員長変員長笹浪幸男(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第12号(石狩湾新港管理組合規約の一部改正に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第13号(北海道道の路線の認定及び廃止に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第16号及び第17号(工事請負契約の締結に関する件)を一括議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第18号及び第19号(工事請負契約の締結に関する件)を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第20号(工事請負契約の変更に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑥ 議案第21号(工事委託契約の変更に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑦ 報告第2号(専決処分報告につき承認を求める件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- 〇7月16日(金)午前10時29分、第4委員会室
において開議、午前10時45分
散会数会委員長 笹浪 幸男(自民)
 - 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における 建設事情調査の概要について報告書により報 告、異議なく了承。
- ② 委員長から、北海道住宅対策審議会委員の 推せんについてはかり、笹浪幸男委員長(自 民)、野村權作委員(自民)、萩上元春委員 (社会)及び勝木省三委員(道政)を推せん することに決定。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、昭和58年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ④ 委員長から、昭和58年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、 異議なく決定。派遣委員については、委員長 に一任することとした。
- ⑤ 委員長から、本委員会に付託されていた請願第74号(小樽市最上町線道路拡幅に関する件)については、付託が取り消された旨報告。

農地開発委員会

〇6月25日(金)午後1時20分、第3委員会室において開議、午後1時25分散会

委員長 伊藤 豪(道政)

一般議事

- ① 農地開発部長から、第2回定例会提出予定 案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道外における 農業基盤整備事業等の事情調査の概要につい て報告書により報告、異議なく了承。
- ○7月15日(木) 午後6時3分、第3委員会室 において開議、午後6時7分 散会

委員長 伊藤 豪(道政)

付託案件の審査

- 議案第9号(国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案)を議題とし、農地開発部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- 般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継 続調査の申し出をすることをはかり、異議な く決定。
- 〇7月16日(金) 午前10時26分、第3委員会室 において開議、午前10時35分 散会

委員長 伊藤 豪(道政)

一般議事

- (1) 農地開発部長から、昭和58年度北海道開発 関係予算について説明。
- ② 委員長から、道内における農業基盤整備事 業の実施状況等調査の実施についてはかり、 異議なく決定。実施時期等については、委員 長に一任することとした。
- ③ 委員長から、昭和58年度農業基盤整備関係 国費予算に関する中央折衝の実施については かり、異議なく決定。実施時期等について は、委員長に一任することとした。

水産委員会

〇6月25日(金) 午後1時17分、第6委員会室 散会

委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- 委員長から、本委員会に付託されていた請 願第150号(共和・泊原子力発電所設置に関 する温排水による影響の再評価を求める件) については、付託が取り消された旨報告。
- ○7月15日(木) 午後6時、第6委員会室にお いて開議、午後6時3分散会 委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 委員長から、農業・林業・水産業各普及事 業の充実強化に関する要望意見案について、 配付の案文により農務委員及び文教林務委員 と合同で発議することをはかり、異議なく決 定。
- ② 委員長から、付託の請願・陳情について、 閉会中継続審査の申し出をすること及び所管

事務について閉会中継続調査の申し出をする ことをはかり、異議なく決定。

〇 7 月16日(金) 午前10時37分、第6委員会室 において開議、午前10時45分 散会

委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 委員長から、道内における水産事情調査の 実施についてはかり、異議なく決定。実施時 期等については、委員長に一任することとし
- ② 長岡寅雄委員(社会)から、北朝鮮との漁 業協定期限切れに関し、操業についての対策 と影響、協定の早期締結のための国への対処 原清重委員(社会)から、韓国及びソ連漁 船による漁具被害の補償、無利子融資の返済 措置について

要望があり、委員長から、水産部において十 分な対応をするよう発言。

文 教 林 務 委 員 会

において開議、午後1時19分 〇6月25日(金) 午後1時24分、第10委員会室 において開議、午後1時27分 散会

委員長 中田 繁夫(社会)

一般議事

- 教育長から、第2回定例会提出予定案件に ついて説明。
- 〇7月15日(木) 午後6時2分、第10委員会室 において開議、午後6時7分 散会 委員長 中田 繁夫(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第30号(財産の取得に関する件)を議 題とし、教育長から説明の後、異議なく原案 のとおり可決することに決定。
- ② 報告第3号ないし第35号(いずれも専決処 分報告につき承認を求める件)を一括議題と し、教育長から説明の後、異議なく原案のと おり承認議決することに決定。付託案件に対

する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、農業・林業・水産業各普及事業の充実強化に関する要望意見案について、 配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願・陳情について、 今後付託されるものも含め、閉会中継続審査 の申し出をすること及び所管事務について、 閉会中継続調査の申し出をすることをはか り、異議なく決定。
- ○7月16日(金) 午前11時22分、第10委員会室 において開議、午前11時34分 散会 委員長 中田 繁夫(社会)

一般議事

- ① 委員長から、道内における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和 58年度北海道開発関係予算について説明。
- ③ 委員長から、昭和58年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、 異議なく決定。実施時期等については、委員 長に一任することとした。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

〇6月24日(木)午後1時42分、第1委員会室において開議、午後3時45分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 開発調整部長から、第2回定例会提出予定 案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道外における 開発事情調査の概要について報告書により報 告、異議なく了承。
- ③ 開発調整部長から、石狩湾新港関係漁業対策について説明の後、

川崎守委員(共産)から、対策費の道の持 ち分について

質疑があり、開発調整部長から答弁。

④ 開発調整部長から、北海道発展計画の点検 について説明の後、

鈴木誠二委員(社会)から、点検の趣旨、 吉田英治委員(社会)から、発展計画スター ト後の情勢の変化、ローリング・システムを 採用した個別計画、特別部門を先行して計画 立案する考えの有無、点検結果の行政への反 映

川崎守委員(共産)から、点検終了後直ち に新計画策定の考えについて

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長か ち答弁。

- ⑤ 小野秀夫委員(道政)から、(1)港湾の機能 分担に関し、発展計画と貨物取扱量の現状、 分担明確化に対して講じた対策、石狩湾新港 開港に伴う隣接港との機能分担の考え、(2)室 開港と大洗港を結ぶフェリー運航に関する道 の取り組みについて
 - 質疑、意見及び要望があり、開発調整部長か ら答弁。
- ⑥ 川崎守委員(共産)から、青函トンネルに 関し、取付け線工事の見通し、木古内と函館 間の扱い、青函連絡船の役割分担について 質疑、意見及び要望があり、開発調整部長か

ら答弁。

〇7月15日(木)午後6時38分、第1委員会室において開議、午後6時40分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- 委員長から、北海道開発庁の存続に関する 要望意見案について、配付の案文により発議 することをはかり、異議なく決定。
- ○7月16日(金) 午後零時32分、第1委員会室 において開議、午後1時散会 委員長 吉田 政一(自民)
 - ① 開発調整部長から、昭和58年度北海道開発 関係予算について説明。
 - ② 委員長から、昭和58年度北海道開発予算に 関する中央折衝及び道外における開発事情調 査の実施についてはかり、異議なく決定。実 施時期等については、委員長に一任すること とした。
 - ③ 川崎守委員(共産)から、苫小牧港に関し、 大洗港とのフェリー航路開設、歩道橋等設置 の可能性について(関連して小野 秀夫 委員 (道政)から、シフトバース建設とフェリー 航路増設との関連について)

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長か ら答弁。

石炭対策特別委員会

〇6月25日(金)午後2時43分、第11委員会室において開議、午後3時5分散会

委員長 字川 源吉(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した道外における 石炭鉱業振興状況調査の概要について報告書 により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、北炭夕張新炭鉱の災害 に係るその後の状況について報告の後、

石川十四夫委員(道政)から、再建に対す る道の強力な取り組み

湯田倉治委員(道政)から、平安八尺層と 北部開発に対する考え、北炭幌内炭鉱の資金 繰り状況と財産処分等の自助努力及び国への 働きかけについて

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及 び労働部長から答弁。

〇7月15日(木) 午後6時42分、第8委員会室 において開議、午後7時2分 散会

委員長 宇川 源吉(自民)

- ① 委員長から、老朽化の火力発電所の設備更 新に関する要望意見案について、配付の案文 により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝 の実施についてはかり、異議なく決定。実施 時期等については、委員長に一任することと した。
- ③ 藤井虎雄委員(社会)から、苫東厚真火力 発電所1・2号機の排出量規制に関し、国内 炭と外炭使用による硫黄酸化物規制値の相違 とその理由、規制値を同一とする考えについ

質疑及び意見があり、商工観光部長及び生活 環境部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

O7月16日(金) 午後1時9分、第3委員会室 において開議、午後1時26分 散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

- ② 領対本部長から、昭和58年度北海道開発関係予算に関する要望事項について説明。
- ③ 委員長から、本件に関する中央折衝の実施 についてはかり、異議なく決定。実施時期等 については、委員長に一任することとした。
- ④ 領対本部長から、「北方領土問題等の解決 の促進のための特別措置に関する法律案」等 について報告。

- 35 -

公害対策特別委員会

○6月25日(金) 午後3時52分、第2委員会室 において開議、午後4時9分 散会

委員長 高木 繁光(自民)

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた請願第145号(共和・泊原子力発電所1・2号機に係る社会的、経済的影響の評価を求める件)については、付託が取消された旨報告。
- ② 生活環境部長から、水質汚濁防止法に基づく改善命令の発動について報告の後、 岡本栄太郎委員(社会)から、立入り調査 の方法についての再検討の考えについて 質疑及び要望があり、生活環境部長から答
- ③ 生活環境部長から、苫小牧圏都市計画に係 る道路整備事業の環境影響評価実施状況につ いて説明。
- ④ 委員長から、さきに実施した道外における 公害事情調査について報告書により報告。異 議なく了承。
- 〇7月15日(木) 午後6時31分、第2委員会室 において開議、午後6時37分 散会

委員長 高木 繁光(自民)

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付 託されるものも含め、閉会中継続審査の申し 出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 生活環境部長から、昭和57年公害の状況等 に関する年次報告について説明。

懲罰特別委員会

O 6 月24日(木) 午後 4 時19分、第 4 委員会室 において開議、午後 4 時21分 散会

委員長 西尾 六七(自民)

- ① 委員長から、小野秀夫議員(道政)から、 6月17日の本委員会における発言の一部訂正 について申し出があった旨報告。
- ② 委員長から、3月24日の本会議における小

野秀夫議員(道政)の討論に係る商工労働委 員会の状況について理事会において確認した 旨報告。

〇 6 月30日(水)午後4時6分、第4委員会室において開議、午後4時49分散会

委員長 西尾 六七(自民)

付託案件の審査

- ② 委員長から、7月1日の本会議において本 委員会の審議状況を中間報告することについ てはかり、異議なく了承。委員長の中間報告 については委員長に一任することとした。 (注、7月3日の本会議において懲罰動議の撤回請求 が承認されたことに伴い、懲罰特別委員会は自動的に 消滅した)

予算特別委員会

〇7月8日(木)午後5時35分、第1委員会室において開議、午後5時45分散会

委員長 鈴木 誠二(社会)

正副委員長の互選

- ① 野村權作臨時委員長(自民)から、委員長 互選の方法についてはかり、松本勇委員(自 民)の動議により指名推選の方法をもって、 鈴木誠二委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法について はかり、長岡寅雄委員(社会)の動議により 指名推選の方法をもって野村權作委員(自民) を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営方法等について協議 のため午後5時40分休憩、午後5時41分再 開、休憩中協議の結果、付託案件に対する審 査の方法について、2分科会を設置して質疑

を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。

④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

〇第 1 分科委員 (15人)

 神本
 三也(社会)
 伊藤
 弘(自民)

 勝木
 名三(道政)
 久田
 恭弘(自民)

 水岡
 薫(自民)
 吉川
 貴盛(自民)

 長岡
 寅雄(社会)
 吉野
 之雄(社会)

 伊藤
 武一(公明)
 高木
 繁光(自民)

 寺崎
 政朝(自民)
 高田
 忠雄(道政)

 工藤万砂美(自民)
 星野
 健三(社会)

 田苅子政太郎(自民)

O第2分科委員(15人)

小田原要四蔵(社会) 木本 由孝(自民) 桜井 外治(自民) 松本 勇(自民) 山口 眞人(自民) 関根 建二(社会) 川崎 守(共産) 輸島 幸雄(社会) 岡本栄太郎(社会) 宇川 源吉(自民) 中崎 昭一(自民) 伊藤 豪(道政) 大平 秀雄(自民) 野村 權作(自民) 武部 勤(自民)

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長 1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選 任並びに所属変更については本委員長におい て行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議 なく配付の日程表のとおりとすることに決 定。
- ⑦ 質疑の方法について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席について、異議なく配付の議席表のと

おりとすることに決定。

⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び 各分科正副委員長をもって構成する理事会を 設置し、その協議により運営することについ てはかり、異議なく決定。

第1分科会

〇7月8日(木)午後5時47分、第1委員会室において開議、午後5時57分散会

第1分科委員長

長岡 寅雄(社会)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に長岡 寅雄委員(社会)、分科 副委員長に久田恭弘 委員(自民)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について 協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことについてはかり、異議なく決定。理事には、伊藤弘委員(自民)、神本三也委員(社会)、高田忠雄委員(道政)、伊藤武一委員(公明)をそれぞれ選出。
- 分科委員外委員の発言の取扱いについて、 その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、配付の議席表のとお りとすることに決定。
- ○7月10日(金) 午前10時29分、第1委員会室 において開議、午後2時58分 散会 第1分科委員長

長岡 寅雄(社会)

① **公安委員会所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員(共産)の本分科会への出席及び公安委員会所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり異議なく決定の後、

岩崎 守男委員(社会)から、

東日本学園の運営に係る違法行為に関し、 関係者から告発があった場合の対応、捜査に ついての考え方について

湯本 芳志委員(社会)から、

交通事故防止対策に関し、本年の交通事故 死亡者増加の要因、青少年ドライバーに対す る対策と安全運転上好ましくないテレビの自 動車走行シーンに対する認識、薄野地区にお ける駐車違反の実態と取り締りのあり方、改 造車両の取締り、ハイ・タク業界及び建設業 関係に対する交通安全指導、交通事故の車種 別分析の有無、パトカーにオートマチック車 を導入する考え、交通事故防止対策について 科学警察研究所を活用する必要性について

工藤 啓二委員(公明)から、

- (1) 110番への通報に関し、110番への通報 件数、現場への到着所要時間、通報者の氏 名が傍受された事案と指令方法の改善
- (2) 交通違反に関し、スピードメーター探知 機の規制及び取締りに対する見解
- (3) 青少年対策に関し、対策の具体的内容、 有害図書及びわいせつ文書の判断基準、自 動販売機による有害図書等販売の実態と今 後の規制の考え方

川崎 守委員(共産)から、

- (1) 右翼団体の活動に関し、道内の団体数と 資金源、暴力団とのつながり、違法行為に 対する取締り、函館市における労働団体の 集会に対する妨害行為と警察の措置の妥当 性
- (2) 風俗営業の許可に関し、江別市における パチンコ店の許可申請の経緯、前回不許可 とした理由とその後の事情変更の有無、許 可前に宣伝行為を行うことに対する見解等 について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長、 刑事部長、交通部長、警ら部長及び防犯部長から答弁 があって公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 企業局所管に対する質疑に入り、 神本 三也委員(社会)から、

- (1) 苫東住宅団地に関し、一般会計からの借 入金の返済見通し、地域振興整備公団への 土地売却の促進
- (2) 電気事業に関し、本年の発電見通しと北

電への売電計画、水力発電の拡充強化に対 する見解等について

質疑、意見及び要望があり、企業局長から答弁があって企業局所管に対する質疑を終結。

〇7月12日(月) 午前10時19分、第1委員会室 において開議、午後5時23分 散会

第1分科委員長

長岡 寅雄(社会)

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 農薬の安全性に関し、ジフェニール系水 田除草剤の道内での使用状況、製造過程で 生成されるダイオキシンの毒性に対する見 解、東京都衛生研究所での研究内容、CN Pの道内における土壌残留状況と人体への 影響、今後検査を実施する考え
- (2) 食品添加物に関し、BHA及び臭素酸カリウムの規制に対する国の取り組みと道の対応、道内における使用の実態、BHAの代替添加物への対処方針、臭素酸カリウムがバンについて許容された理由等について

星野 健三委員(社会)から、

- (1) 富良野市外3町村衛生処理施設センター に関し、工事請負契約手続の適法性、工事 明細書の提出の有無と調査の考え
- (2) 小児障害対策に関し、脳性麻痺の早期発見対策事業の概要、脳性麻痺の発生率と原因、障害児出生の防止対策と明年度の予算措置、川崎病の主要症状と患者の発生状況、唇顎口蓋裂児の発生状況、保険対象として治療可能な病院数、当該病院の周知の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があっ て衛生部所管に対する質疑を終結。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員 (共産)からの本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、通 告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

関根 建二委員(社会)から、

(1) 福祉施設の整備に関し、肢体不自由児の

福祉対策についての基本的な考え方、総合 療育センターの性格と機能、今後の改善整 備の考え方、脳性麻痺対策について衛生部 及び民間団体との連携の必要性

(2) 社会保険事務に関し、社会保険事務所の 業務内容と職員数、審査請求の状況、北見 社会保険事務所における日雇労働者健康保 険傷病手当金の無支給決定の理由、医師の 診断内容と審査官の就労可能との判断に対 する見解等について

本間 喜代人委員(共産)から、

社会福祉法人まりも学園の運営に関し、道の特別監査の状況、定款違反の有無、寄附金の内容、給与支給規程に基づかない給与支払の事実の有無、監査実施後の是正状況、理事会運営についての問題点等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって民生部所管に対する質疑を終結。

〇7月13日(火)午前10時36分、第1委員会室において開議、午後4時58分散会

第1分科委員長

長岡 寅雄(社会)

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員(共産)の本分科会への出席及び生活環境部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

関根 建二委員(社会)から、

- (1) 環境影響評価条例に関し、条例の運用面での改善に対する見解、静内・中札内横断 道路建設と国定公園指定に伴う再評価に対 する見解
- (2) いすゞ自動車工場の立地に伴う公害防止協定に関し、協定書締結に際しての基本的な考え方、事業者の公害防止に対する責任条項、有機物質の排出規制の欠落の理由、産業廃棄物の処理の協定書上の取り扱い
- (3) 補助団体等の活動に関し、若人のふれあい広場の事業主体及び事業の内容、新生活運動協会の運営のあり方、道民運動に係る団体の整理、統合と補助の見直しの必要性

等について

神本 三也委員(社会)から、

硫黄鉱さいの鉱窖に関し、阿寒硫黄鉱山の 鉱さいによる水質汚濁の実態把握と被害防止 対策についての国との協議、水質調査結果と 牛馬の放牧及び環境に対する影響、今後の鉱 害防止対策に対する積極的な取り組みについ

川崎 守委員(共産)から、

- (1) 風蓮湖の自然保護に関し、根室市の道路 建設に係る調査について道との協議の有 無、道路建設による風蓮湖に及ぼす影響、 自然保護に対する基本姿勢、ラムサーム条 約で指定されなかった理由
- (2) 釧路湿原の保護に関し、国立公園指定に対する取り組み状況、鳥獣保護地区拡大の具体的な考え方、湿原周辺の開発行為による環境悪化と対処策、監視員の増員及び待遇改善に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁が あって生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、 吉田 英治委員(社会)から、

- (1) 景気浮揚対策に関し、公共事業の本道経 済に及ぼす影響、上期の公共事業の発注状 況と前年同期との比較、下期の事業の確保 と早期に追加補正することについて国への 要請方、明年度の開発予算要求に対する見 解
- (2) 道発展計画に関し、国の長期計画の見直 しに伴う発展計画への影響、計画点検作業 のスケジュール、道総合開発委員会での検 討状況、点検にあたっての基本的な考え方
- (3) 土地対策に関し、地価公示制度の見直しの内容と道の地価調査の改善に対する見解、地価の安定及び供給確保策について検討の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁が あって開発調整部所管に対する質疑を終結。

〇7月14日(水)午前11時5分、第1委員会室
において開議、午前11時51分
閉会
第1分科委員長

長岡 寅雄(社会)

① 総務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二委員(公明)か ら質疑通告の取下げがあった旨報告の後、

小田原 要四蔵委員(社会)から、

行政効果の測定に関し、手法が確立されていない状況での行政組織規則の表現の妥当性 及び改正についての検討状況、自己監査制度 に対する見解

湯本 芳志委員(社会)から、

政治倫理に関し、政治家及び政治倫理に対する所見、ロッキード裁判における本道選出国会議員の有罪判決と議員の進退に対する見解、刑事被告人である元総理大臣の出席する会合への知事出席の妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び審議室長から答弁があって総務部及び各種委員会所管に対する質 疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査報告について、分科委員長に一任することについてはかり、異議なく決定。
- ③ 分科委員長から、分科会における**審査**終了 のあいさつがあった。

第2分科会

〇7月8日(木)午後5時48分、第2委員会室において開議、午後5時54分散会

第2分科委員長

松本 勇(自民)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に松本 勇委員(自民)、分科副委員長に輪島幸雄委 員(社会)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について 協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会及び 道政各1名計3名の理事を選びその協議によ り行うこと、共産についてはオブザーバーの 扱いとすることをはかり、異議なく決定。理 事には、桜井外治委員(自民)、関根建二委 員(社会)、伊藤豪委員(道政)をそれぞれ

選出。

- ③ 分科委員外委員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ・ 議席についてはかり、配付の議席表のとおりとすることに決定。
- 〇7月10日(土) 午前10時12分、第2委員会室 において開議、午後2時7分 散会

第2分科委員長

松本 勇(自民)

① 農務部所管に対する質疑に入り、

青山 章委員(自民)から、

稲作経営の安定対策に関し、本年の生産者 米価の情勢に対する受けとめ方、稲作農家の 経営実態に対する認識と経営安定のための具 体的方策、本年度の特例自作農維持資金の融 資枠、転作用麦の民間委託育種に対する見解 等について

関根 建二委員(社会)から、

- (1) 農作物市場に関し、小豆の買い占めの実態、農作物を投機の対象とすることに対する見解と対処策
- (2) 農地の保全に関し、斜里町における農地 売買の実態及び商社の介在に対する見解、 農業委員会に対する指導の徹底
- (3) 農業協同組合に対する指導に関し、農協 に対する指導のあり方、サッラク農協の土 地転売、不動産業者への融資の妥当性、検 査の実施と改善指導の必要性等について

小田原 要四蔵委員(社会)から、

- (1) 新なめ祭の献穀に関し、献穀の歴史と最近の状況、献穀者の選定方法、持参に際し道職員が同行する理由及び旅費支出の適法性、天皇の私的宗教行事に関連した公費支出に対する見解及び憲法解釈
- (2) 農薬の取扱いに関し、除草剤メトリブジン剤による馬鈴しょ被害の状況、メトリブジンの道内における使用状況及び薬害の原因、新薬の使用についての農家指導、今後の対処策等について

川崎・守委員(共産)から、

(1) 新酪農村に関し、酪農家の負債状況と償

還方法、入植時期による経営状況の差異に 対応した償還条件に対する配慮

(2) 肉牛対策に関し、肉用牛農家の経営悪化 と負債整理対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって 農務部所管に対する質疑を終結。

- ② 土木部所管に対する質疑に入り、 関根 建二委員(社会)から、
 - (1) 道路行政に関し、開発道路に対する見解、開発道路の採択基準及び発展計画の見直しに伴う道路計画の今後のあり方、静内・中札内横断道路建設と公園指定に伴う環境調査の進捗状況、調査結果の公表に対する見解
 - (2) 河川管理に関し、札幌市南の沢川等の砂防工事の概要、事業施行にあたっての関係住民に対する対応策、豊平川左岸の河川道路延長の実現可能性等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

〇7月12日(月)午前10時13分、第2委員会室において開議、午後4時29分散会

第2分科委員長

松本 勇(自民)

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、 関根 建二委員(社会)から、

道営住宅の建替え事業等に関し、道営住宅 管理の現況と問題点、老朽化対策の進め方、 都市部における道営住宅用地取得の基本方 針、建替え事業の施行上の要件、札幌市真駒 内団地建替え事業計画の内容と建替えに伴う 現入居者の移転補償及び家賃の高額化対策、 建替え事業における駐車場用地・公園用地等 の確保に対する見解等について

岡本 栄太郎委員(社会)から、

(1) 住宅及び宅地対策に関し、第3期住宅対策5ヵ年計画における公営住宅の達成率が低い理由と第4期計画における見通し、56年度の公営住宅建設事業の実績が開発予算決定を下回わった理由、第4次計画で公営住宅供給が減少していることに対する見解及び住宅産業への影響、公営住宅の耐用年

数と建替えの促進、宅地価格の上昇に対す る対応策

(2) 道住宅供給公社の運営に関し、56年度事業計画に対する実績、売れ残り住宅に対する対処策、公社の経営状況、道から公社への貸付の目的と効果、今後の経営健全化のための改善策等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁が あって住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、高橋鉱第1分科委員(公明) の本分科会への出席及び労働部所管に対する 発言の申し出について、通告の分科委員の質 疑終了後これを許可することをはかり、異議 なく決定。

樫林 巖委員(社会)から、

- (1) 産業用ロボットに関し、本道における産業用ロボットの導入状況と雇用面に対する 影響、国の産業用ロボットの導入に係る調 査研究の状況
- (2) 身体障害者の雇用に関し、モデル工場の 経営実態、身障者雇用促進のための対策

吉田 英治委員(社会)から、

- (1) 身体障害者の職業紹介に関し、職員の増 員、求人開拓に対する積極的な取り組み
- (2) 中高年齢者の雇用に関し、道内企業における定年制の実態、定年延長に対する取り組み、定年延長の阻害要因とその解決策
- (3) 身体障害者の職業訓練校に関し、科目増設の考え、養護学校からの入所者のカリキュラム等についての配慮、入所志願者の減少傾向の理由とその対応策等について

高橋 鉱委員(公明)から、

- (1) 雇用対策に関し、最近の雇用情勢の把握 状況、雇用不安と道の対策、本年3月の新 規学卒者の求人・就職状況、道内の若年労 働力確保に対する方策
- (2) パート・タイマーに関し、本道における パート・タイマーの現状、一般労働者との 賃金等の格差と改善策、雇用保険、労災保 険の適用基準及び適用の実態、パート・タ

イマーの労働条件の整備に対する見解等に ついて

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

〇7月13日(火)午前10時12分、第2委員会室において開議、午後4時47分散会

第2分科委員長

松本 勇(自民)

① 水産部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二第2分科委員(公明)の本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、 異議なく決定の後、

小田原 要四蔵委員(社会)から、

日本海沿岸の磯焼対策に関し、磯焼現象の 定義、日本海の漁業生産状況、磯焼原因の研 究体制、磯焼現象と栄養塩との関連性、原因 究明のための予算・試験事業の実施状況、今 後の原因究明と防止対策に取り組む決意

岡本 栄太郎委員(社会)から、

- (1) 漁港整備に関し、第5次及び第6次漁港 整備計画の内容と策定方針、第6次計画に おける漁業者の要望の反映状況、第7次計 画において中小漁港の整備を実施する必要 件
- (2) 水産資源の増大対策に関し、さけ・ます 資源増大計画の内容及び消費量との関連、 量から質への計画目標転換に対する見解、 沿岸整備事業の重点対策と予算、地元負担 の割合
- (3) 漁家負債に関し、本道漁業者の負債の現 状、漁船漁業経営状態調査の内容、負債整 理対策の進め方
- (4) 流通対策に関し、魚価の安定等に対する 積極的な取り組み
- (5) 漁業の再編整備に関し、再編整備に対す る基本的な考え方

工藤 啓二委員(公明)から、

(1) 日本海における秋さけ資源対策に関し、 さけのふ化放流事業の実績と来遊の状況、 利尻島におけるふ化放流施設の整備、日本 海秋さけ資源増大対策の具体的内容及びさけ定置網漁業の現況、遊魚者のさけ釣規制 緩和要望に対する見解

(2) トドによる被害対策に関し、本道沿岸の トドの生息数及び被害状況、今後の駆除対 策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、 分科委員長から、吉田英治委員(社会)から 質疑通告の取下げがあった旨報告の後、

神本 三也委員(社会)から、

- (1) 農用地開発に関し、農用地開発の進め方 に対する基本的な考え方、自然環境保全と の調和に対する配慮
- (2) 農業基盤整備事業に係る予算等に関し、 58年度予算の見通しと対処策
- (3) 土地改良区の運営等に関し、土地改良区 の運営の実態把握状況、農家の賦課金の増 高に伴う軽減の方途、土地改良区の統廃合 に対する見解、農道の新設・改良に伴う交 通事故防止対策等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁が あって農地開発部所管に対する質疑を終結。

- ③ **商工観光部所管に対する質疑**に入り、 **小田原 要四蔵委員(社会)**から、
 - (1) 電力需要想定と電力料金に関し、北電の需要想定の根拠資料、56年の需要想定と実績との差に対する見解、原発建設推進との係り、共和・泊原発の建設費と電気料金への影響、適正予備率に対する見解、北本送電連系の運用状況、
 - (2) 北電のPR姿勢に関し、北電の原子力に 関するPRパンフレットの記述の当否と適 切な指導に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

〇7月14日(水)午前10時20分、第2委員会室において開議、午後4時50分散会

第2分科委員長

松本 勇(自民)

① **商工観光部所管に対する質疑**の続行、 分科委員長から、山口眞人委員(自民)から 質疑通告の取下げがあった旨報告の後、

藤井 虎雄委員(社会)から、

電力及び石炭エネルギーに関し、北本送電連系の信頼度に対する見解、北電の内陸の電力用炭価が低いことに対する見解、適正炭価に引き上げられないことによる北空知4山への影響、北電の66年までの施設計画と滝川火発の取り扱い、苫東厚真2号機に北空知の石炭を利用する可能性、第7次石炭鉱業審議会の答申と国内炭需要の維持・拡大の方途等について

岩崎 守男委員(社会)から、

観光公共施設整備補助事業に関し、音別町が町自然公園条例で指定した土地の東日本学園への売却と買戻しに係る事実経過、買戻し対象面積、道と音別町及び音別町と東日本学園で締結された文書の効力等に対する見解、当該土地を東日本学園が企業に売却した事実の把握時期、今後の本問題についての取り組み姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁が あって商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、 神本 三也委員(社会)から、

- (1) 森林転用に関し、森林から他の用途への 土地利用の転換状況、林地開発の許可条件
- (2) 天然林の育成に関し、天然林育成に係る 施業方針及び民有林に対する指導、中小規 模森林所有者に対する技術指導の必要性
- (3) 林業後継者の育成対策に関し、林業後継者の育成に対する基本的な考え方、学童に対する緑化思想の普及、本道における緑をつくるボランティア活動の実態
- (4) 森林災害に関し、林道開発と災害発生と の関連、耕地防風林の整備の必要性
- (5) 民有林の経営合理化、林産業の構造改善に関し、森林施業計画等の達成状況、計画 樹立の促進、木材産業の再編整備のための 十分な助成の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

〇7月15日(木)午前10時9分、第2委員会室において開議、午後2時23分

閉会 第2分科委員長

松本 勇(自民)

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、小田原 要四蔵委員(社会)から、

北方 領土 問題と 学校 教育のかかわりに関し、学校教育で北方領土問題を取り扱う意図、政府の方針に限定して領土問題を教育することの妥当性、固有の領土論の国際的通用性、ヤルタ協定の拘束力と歴史的事実関係、北方領土に関する指導資料の見直しの必要性等について

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 外国人の教員登録に関し、58年度の教員 登録試験に日本国籍を要件とした理由、国 家公務員・地方公務員の外国籍者の取り扱 い、教員が公権力の行使または公の意思決 定に参画すると解することの妥当性、他府 県の取り扱い状況及び国際化社会に対する 認識、教員採用に際し国籍要件の廃止につ いての検討方
- (2) 私学経営、障害児教育に関し、私立高校の欠員の増加に対する適正配置、財政援助 策、障害児の高等部の拡充、訪問教育の教 員増等について

川崎 守委員(共産)から、

タンチョウの保護対策に関し、タンチョウの生息状況、営巣地の数と釧路湿原の開発行為による影響、営巣調査の実施状況と調査間隔を短くする考え、釧路湿原の管理主体等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって 教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査経 過報告について、分科委員長に一任されたい 旨をはかり、異議なく決定。
- ③ 分科委員長から、分科会における審査終了 のあいさつがあった。
- O7月15日(木) 午後3時25分、第1委員会室 において開議、午後5時17分 閉会

委員長 鈴木 誠二(社会)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、

岩崎 守男委員(社会)から、

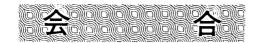
東日本学園の土地処分に関し、音別町の自然公園用地の東日本学園への売却と東日本学園の企業への処分についての経過、買戻し措置についての努力方、東日本学園の運営の適正化、東日本学園の当該土地売却と国土法に基づく手続上の問題点等について

湯本 芳志委員(社会)から、

政治倫理に関し、ロッキード事件第1審判 決で本道選出代議士が有罪判決をうけたこと に対する所見、同事件の刑事被告人である元 総理を囲む会に知事が出席したことの当否等 について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後5時12分休憩、午後5時14分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議において付託 案件に対する意見調整の結果、議案第1号及 び議案第2号のいずれも意見の一致をみるに 至らなかった旨報告の後、議案第1号及び第 2号を一括問題とし、直ちに採決に入り、起 立採決の結果、起立多数(共産反対)をもっ て原案可決。付託案件に対する委員長報告に ついては委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了の あいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

- 〇7月22日(木) 都道府県会館において役員会 を開催。会長代理(京都府議長)のあいさつの 後、協議に入り、第79回定例総会提出議案につ いて、各委員長及び副委員長からの報告のとお り決定し、「行政改革の推進に関する決議案」 ほか1件を役員会提出として決定。次に、第79 回定例総会の日程及び運営について、全議事務 総長から説明のとおり了承の後、次に、定例総 会議決事項の要望運動方法及び役員の選任方法 について、協議決定した。次に、全議事務総長 から「都道府県議会議員として、永年在職者に 対する記念章贈呈に関する内規の改正(案)し のとおり改正したい旨の 経過説明の後、協議 し、原案のとおり改正することに決定した。次 に、全議事務総長から、「昭和58年4月統一地 方選挙に伴う 自治功労者表彰 の 特例について (案)」に基づき、繰り上げ表彰について説明 の後、原案のとおり決定した。次に、会長代理 から、臨時行政調査会の基本答申及び国民健康 保険問題懇談会の中間報告後の対応策に関し、 会長に一任したい旨の発言があり、了承の後、 全議事務総長から、議員関係経費等に関する調 査会(衆議員議長の諮問機関)の答申の概要に ついて説明の後、閉会した。
- ○7月28日(水) 都道府県会館において第79回 定例総会を開催。会長代理(京都府議長)のあいさつに引き続き、来賓の内閣総理大臣並に自治大臣からあいさつの後、議事に入り、役員会提出の「行政改革の推進に関する決議案」及び「地方財政の確立に関する決議案」を原案ける決議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定。ついで、要望すの取扱いについては、会長代理の説明のとおり会長に一任することを了承した。次に、役員選任について役員選考委員会を設置のうえ、休憩、再開後、役員会選考委員長報告のとおり、会長には、東京都議長、副会長に、北海道、

青森県、千葉県、愛知県、和歌山県、鳥取県、 愛媛県及び長崎県議長、理事には宮城県、郡馬 県、三重県、奈良県、島根県、香川県及び宮崎 県議長、監事には、山梨県、兵庫県及び熊本県 議長を選任し、引き続き、各委員会正副委員長 を選任決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 北方領土の早期返還について

社会文教委員会関係

- 1 高齢化社会に対応する諸施策の推進について
- 2 障害者対策の充実について
- 3 中国残留日本人孤児及び永住帰国者の援 護について
- 4 安全で健康な食品管理と食生活の指導について
- 5 麻薬・覚せい剤対策の強化について
- 6 湖沼の環境保全対策について
- 7 空きかん等散乱防止対策について
- 8 埋蔵文化財の発堀調査の促進について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業の経営安定対策について
- 2 エネルギー対策の推准について
- 3 工業用水施設・電気施設の災害復旧事業 費に対する補助制度の創設について

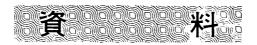
建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 治水事業の推進について
- 5 特殊建築物防災対策の強化について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災対策の推進について
- 8 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化について
- 9 地域公共交通機関の確保について
- 10 自動車運送事業における事故防止対策について
- 11 地方空港の整備促進等について
- 12 港湾整備事業の促進について 農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田利用再編対策の充実強化について
- 3 農畜水産物の輸入自由化及び枠拡大反対 について
- 4 林業・木材業の経営安定について
- 5 松くい虫防除対策の拡充強化について
- 6 漁業振興対策について

都道府県議会議員共済会

○7月28日(水) 都道府県会館において理事会 を開催。共済会会長(東京都議長)のあいさつ に引き続き、協議に入り、副会長の互選につい て、干葉県議長を副会長に選任した。ついで、 全議事務総長から議員共済年金制度改善につい て報告があって閉会した。



第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件	名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金貸付条例		7. 15	7. 19	北海道条例第21号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改	正する条例	同	同	北海道条例第22号
障害に関する用語の整理のための北海道職員 の一部を改正する条例	の給与に関する条例等	同	同	北海道条例第23号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例		同	同	北海道条例第24号
農村地域の工業導入地区における事業税等の 例及び過疎地域における道税の課税の特例に 正する条例		同	同	北海道条例第25号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する	条例	同	间	北海道条例第26号
国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例		闻	同	北海道条例第27号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の 一部を改正する条例		同	同	北海道条例第28号

7月のメモ

- 2日 ○北炭夕張新鉱事故の原因を調査中であった政府の調査委員会は、1次、2次災害とも「不可抗力による事故ではなかった」と人災説の最終報告書をまとめた。
- 3日 ○スペースシャトル「コロンビア」号は7日間の宇宙旅行を終え、カリフォルニア州エドワーズ空軍基地に無事着陸。
 - ○北炭夕張炭鉱は、「新鉱を閉山、政府に 買い上げてもらい、その代金で債務を弁 済する」との独自案を明らかにした。
- 5日 ○苫東に建設中の民間石油備蓄基地での最初の原油が注入される。
- 7日 ○財政再建を進めるうえで大きな問題となっている56年度の税収不足額が、補正予算に比べ史上最高の2兆8千8百億円に達することが確定。
- 9日 ○初村労相は「昭和56年労働経済の分折」 を閣議報告した。同報告は完全失業者が 年平均126万人で前年より12万人、 0.2 %増加と53年以来の高水準。
- 15日 ○第2回定例道議会閉会。
 - ○旭川空港にジェット定期便一番機が乗り

- 入れ、道内5番目のジェット空港となった。
- 17日 ○厚生省発表の日本人平均寿命は、男73.79 歳、女79.13歳と過去最高となった。
- 22日 ○57年産米の生産者米価決定は異例の難航 が続いたが、政府、自民党の折衡で1.10 %引き上げることになった。
 - ○本道と本州を結ぶ青函トンネル工事で、 パイロット役の先進導坑が貫通まで1km を切った。
- 23日 ○政府は国防会議で防衛庁がまとめた防衛 力整備計画の56中期業務見積を了承し た。
 - ○米国防総省は、北大西洋条約機構の共同 防衛貢献度報告書を発表、日本の防衛分 担が最低に近い順位となっていると、厳 しく指摘。
- 24日 〇社会科教科書の記述をめぐり、中国、韓国などから厳しい反発が示された。
- 30日 ()第2 臨調は基本答申をまとめ、土光会長 が鈴木首相に手渡した。